BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2022.09.02 作成

2022 年 8 月新聞書評に掲載された本

平熱のまま、この世界に熱狂したい～「弱さ」を受け入れる日常革命～

宮崎　智之 著

幻冬舎

退屈な日常は、いつでも刺激的な場へと変えられるのだ-。アルコール依存症、離婚を経て断酒に取り組み、平熱の生活を手に入れた著者が、等身大の言葉で世界を鮮やかに描く。

産経新聞 2022/08/06

2020:12./ 225p
978-4-344-03716-8
¥1,650〔税込〕

にゃんこ四字熟語辞典

西川清史 著

飛鳥新社

春風駘蕩、一心不乱、変幻自在、一笑千金、十人十色、無念無想…。世界中から集めたにゃんこたちに、四字熟語でツッコミ入れてみました! ほっこりしながら、ちょっとだけ賢くなれる、四字熟語辞典。

産経新聞 2022/08/06

2022:3./ 110p
978-4-86410-877-5
¥1,540〔税込〕

財布は踊る

原田 ひ香 著

新潮社

専業主婦のみづほは、夢を実現するために生活費を切り詰め、毎月 2 万円を貯金していた。努力が実り、夢を実現した喜びも束の間、夫に 200 万円以上の借金があることが発覚して…。『小説新潮』連載を単行本化。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 284p
978-4-10-352512-7
¥1,540〔税込〕

スマホで薬物を買う子どもたち(新潮新書　957)

瀬戸 晴海 著

新潮社

スマホを介した「密売革命」によって、近年急速に蔓延している子どもたちの薬物汚染。最新ドラッグ事情から、安易な誤解で広がる大麻の脅威まで、元「マトリ」トップが実例とともに徹底解説する。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 254p
978-4-10-610957-7
¥924〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2022 年 9 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp　　Email: marketing@maruzen.co.jp

地魚の文化誌～魚食をめぐる人の営み～

太田 雅士 著
創元社
地域に根づいた知られざる魚食文化を探究した文化誌。魚を獲る、育てる、仕入れる、加工する、卸売り、料理人、そして食べる人まで、魚に関わるすべての生業と生活史を描き出す。

産経新聞 2022/08/07

2022:5./ 199p
978-4-422-74034-8
¥2,750〔税込〕

デビルズチョイス～書き下ろし長編警察小説～(双葉文庫　警察庁特命捜査官　水野乃亜　は-34-04　[3])

初瀬 礼 著
双葉社
イスラム過激派による日本人拉致事件がカザフスタンで発生した。現地に飛んだ警察庁国際テロリズム対策課の水野乃亜は、邦人救出と並行し、テロリストとの関係が噂される上司・佐山英吾を監視するよう命じられ…。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 336p
978-4-575-52584-7
¥770〔税込〕

号外!幕末かわら版

土橋 章宏 著
角川春樹事務所
嘉永 6 年(1853)江戸。低俗なかわら版を売りさばいていた銀次と絵師の歌川芳徳は、浦賀に来た黒船を見に行く。そして勢いで船に乗り込むと…。学芸通信社の配信により『京都新聞』等に掲載したものに加筆修正し単行本化。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 279p
978-4-7584-1421-0
¥1,760〔税込〕

人はどこまで合理的か<上>

スティーブン・ピンカー 著
草思社
陰謀論やフェイクニュースを信じるような人間の非合理性には、ある種の理由やパターンがある。間違いを減らし、人生と世界を豊かにするにはどう理性を働かせればよいかを解説する。ハーバード大学の人気講義から生まれた本。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 286p
978-4-7942-2589-4
¥2,090〔税込〕

人はどこまで合理的か<下>

スティーブン・ピンカー 著
草思社
理性こそが、進歩と繁栄を導く-。理性的思考のための最強ツール群を、倫理学や経済学、統計学、ゲーム理論など幅広い学問から抽出し、その考え方を解説する。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 301p
978-4-7942-2590-0
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

陰謀論入門～誰が、なぜ信じるのか?～

ジョゼフ・E・ユージンスキ 著
作品社
「陰謀論」とは何か。なぜ生まれ、拡がり、問題となるのか。どんな人が信じやすいのか。最新の研究、データを用いて、適切な概念定義と分析手法を紹介し、「陰謀論」といかに向き合うべきかを明らかにする。

産経新聞 2022/08/07

2022:5./ 246p
978-4-86182-894-2
¥2,640〔税込〕

海政戦論～勢力・支配・海戦～

柴田雅裕 著
作品社
海に囲まれる列島には、いかなる政/戦略があるのか? 日本にとって海が持つ意味とは? 熟練の艦乗りが、広大かつ長期的視点から、地政学をパラダイムチェンジ。覇権の鬩ぎ合いを見据えた 21 世紀海洋戦略の礎。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 446p
978-4-86182-923-9
¥4,950〔税込〕

思考実験 BEST50～この 1 冊で「考える力」が面白いほど鍛えられる!～

笠間 リョウ 著
総合法令出版
ハーバード白熱教室で話題になったトロッコ問題、映画「マトリックス」のモデルとなった「水槽の脳」…。観察力、発想力、論理的思考力を自然にトレーニングできる思考実験を紹介する。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 207p
978-4-86280-856-1
¥1,430〔税込〕

定本本屋図鑑 永久保存版

本屋図鑑編集部 編
得地　直美 著
夏葉社
生活のすぐそばにある本屋さんの、これまでと、これからと、いま-。47 都道府県の本屋さん全 76 店舗の貴重な記録。「本屋図鑑」「本屋会議」収録を加筆し、再構成した“本屋本”の決定版。

産経新聞 2022/08/07

2022:7./ 397p
978-4-904816-41-7
¥2,200〔税込〕

デマの影響力～なぜデマは真実よりも速く、広く、力強く伝わるのか?～

シナン・アラル 著
ダイヤモンド社
感染症を拡げ、戦争を起こす“デマ”。誇大広告、ニセ健康知識、フェイクニュースといった巧妙な虚偽から自分を守るには。世界規模のリサーチと科学的研究が、恐るべき真実を暴く。

産経新聞 2022/08/07、日本経済新聞 2022/08/27

2022:6./ 589p
978-4-478-10487-3
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ダンシング玉入れ

中山 可穂 著
河出書房新社
孤高の殺し屋に届いた新たな依頼のターゲットは、宝塚のトップスター。ヅカオタの協力員とともに、トップスターの命を付け狙うのだが…。果たして殺し屋は任務を完遂できるのか!?

産経新聞 2022/08/13

2022:5./ 207p
978-4-309-03037-1
¥1,760〔税込〕

破れ星、流れた

倉本 聰 著
幻冬舎
幼少期は俳句を嗜む“おやじ”の背中を追いかけ、疎開では家族バラバラに暮らし、東大に合格するも放蕩の日々を送り、無鉄砲なニッポン放送時代を経て独立し「倉本聰」へ-。情感たっぷりに綴る、脚本家・倉本聰の自伝。

産経新聞 2022/08/13、読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 331p
978-4-344-03966-7
¥1,980〔税込〕

ユーラシア・ダイナミズムと日本

渡邊 啓貴 編
中央公論新社
劇的に変化する国際環境の中で日本が採るべき道とは。中国の台頭による世界とユーラシアにおけるパワー関係の変化と日本の立場について、日米同盟を意識しながら、ユーラシア大国との関係を主体的に考察する。

産経新聞 2022/08/14

2022:7./ 393p
978-4-12-005555-3
¥2,970〔税込〕

靖国(文春学藝ライブラリー　思想 27)

坪内 祐三 著
文藝春秋
靖国神社。それはかつては「文明開化」の東京に出現した、超モダンでハイカラな空間だった-。政治思想の文脈でしか語られなくなった靖国の固定イメージを解き、生き生きとした姿を蘇らせた、著者の代表作。靖国略年表も収録。

産経新聞 2022/08/14

2022:8./ 367p
978-4-16-813100-4
¥1,815〔税込〕

俺の仕覆～山田英幸仕覆作品集～

山田英幸 著
幻戯書房
茶道具、古伊万里の皿、バカラのグラス…愛するものを、いつも身近に、そして未来へ-。「仕覆界の最左翼」を自負する人気の作家が 20 余年の仕事を振り返る。100 点以上の作品をオールカラーで掲載。英文併記。

産経新聞 2022/08/14

2022:7./ 189p
978-4-86488-244-6
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

とんこつ Q&A

今村 夏子 著

講談社

大将とぼっちゃんが切り盛りする中華料理店とんこつで働き始めたわたし。居場所を見つけたはずだった。あの女が新たに雇われるまでは…。表題作など、人間の取り返しのつかない刹那を描いた 4 篇を収録。『群像』掲載を書籍化。

産経新聞 2022/08/14、毎日新聞 2022/08/20、朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 220p
978-4-06-528396-7
¥1,650〔税込〕

土偶を読む図鑑

竹倉 史人 著

小学館

イコノロジー(図像解釈学)と実証データ(考古学)を用いて土偶のデザインを「解読する」過程を、豊富な図版によって紹介する図鑑。新説も含んだ、「土偶を読む」の完全ビジュアル版。

産経新聞 2022/08/20

2022:4./ 109p
978-4-09-682396-5
¥1,980〔税込〕

心をととのえるスヌーピー～悩みが消えていく禅の言葉～

チャールズ・M.シュルツ、谷川俊太郎 著

光文社

「ピーナッツ」に登場するキャラクターのセリフには、禅語と重なる部分が多々見られる。無言でも、そこには禅語に通じる世界が広がっている。禅で「ピーナッツ」の世界を読み解く。

産経新聞 2022/08/20

2021:9./ 191p
978-4-334-95270-9
¥1,430〔税込〕

クローゼットファイル(仕立屋探偵桐ケ谷京介 [2])

川瀬 七緒 著

講談社

捨て子の着衣のリメイク痕、女子中学生の制服の不自然なシワ、饒舌に語り出すヴィンテージ生地-この男には、人に見えない真相が見える。仕立屋探偵が挑む、6 つの事件。『小説現代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

産経新聞 2022/08/21

2022:7./ 301p
978-4-06-528509-1
¥1,760〔税込〕

武漢コンフィデンシャル

手嶋 龍一 著

小学館

10 歳で武漢に流れ着いた李志傑は、己の才覚を頼りに動乱の時代を駆け抜けたが、文革の嵐に見舞われ、家族は国を追われてしまう。50 年後、李一族の「業」は、MI6 の異端児を巻きこみ、“謀略の香港”に沸き立った…。

産経新聞 2022/08/21

2022:8./ 398p
978-4-09-386635-4
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

指揮官たちの第二次大戦～素顔の将帥列伝～(新潮選書)

大木 毅 著
新潮社
南雲、デーニッツ、パットン、ジューコフ…。第二次世界大戦をリードしてきた指揮官たちにつきまとう「評価」は、果たして本当に正しいものなのか。6 カ国 12 人の知られざる言動と意外な横顔を綴った評伝。

産経新聞 2022/08/21

2022:5./ 219p
978-4-10-603880-8
¥1,650〔税込〕

偉人メシ伝～「天才」は何を食べて「成功」したのか?～

真山知幸 著
笠間書院
織田信長は「立ち食い」で奇襲に成功!? 葛飾北斎は 1 日たった 2 杯の蕎麦で絵を描き続けた!? ローマ皇帝は 1 日で食費が 1 億円!? 古今東西の偉人たちの奇妙キテレツな食生活を紹介する。

産経新聞 2022/08/21

2022:6./ 285p
978-4-305-70962-2
¥1,760〔税込〕

オーライウトーリひなた猫

青木奈緒 著
春陽堂書店
猫が寄り添う穏やかな猫時間-。祖母・幸田文、母・青木玉と続く言葉のリズムと日常への細やかな目線で、幸田家の猫たちの思い出、当代の猫たちとの暮らしを綴る。『ねこ新聞』連載をもとに加筆、再構成。

産経新聞 2022/08/21

2022:7./ 157p
978-4-394-98003-2
¥1,760〔税込〕

アフリカの角～エチオピア・エリトリア紛争知られざる近代戦～

エイドリアン・フォンタネッラズ／トム・クーパー 著
大日本絵画
エリトリア独立を巡ってエチオピアを含む「アフリカの角」で起きた戦いでは、第二次世界大戦後に勃発した戦争としては屈指の大規模戦が繰り広げられた。誰も知らなかった激戦の数々を豊富な画像・イラスト資料で徹底解説する。

産経新聞 2022/08/21

2022:7./ 152p
978-4-499-23349-1
¥4,950〔税込〕

古代ワインの謎を追う～ワインの起源と幻の味をめぐるサイエンス・ツアー～

ケヴィン・ベゴス 著
原書房
古代の王たちが飲んでいたワインの味とは? 絶滅したブドウ種は復活できるのか? 中東で謎めいたワインに出会い運命を変えられた著者が、世界中のワイナリーとワイン科学者を訪ねた 10 年を綴る。

産経新聞 2022/08/27

2022:5./ 298p,20p
978-4-562-07182-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

夜の少年

ローラン・プティマンジャン 著
早川書房
フランス北東部メスで、妻を亡くした後、2人の息子と暮らす鉄道員。男手ひとつで必死に息子を育てたが、長男のフスは高校に入ると地元の極右の仲間とつるみ始めた。ある日、フスは対立するグループの青年を殺してしまい…。

産経新聞 2022/08/28

2022:5./ 173p
978-4-15-210134-1
¥2,420〔税込〕

紙の梟～ハーシュソサエティ～

貫井 徳郎 著
文藝春秋
ある日恋人が殺害されたことを知る。しかし、その恋人は存在しない人間だった-。表題作をはじめ、人ひとりを殺したら必ず死刑になる世界を舞台にした全5編を収録する。想像力の限界に挑む極限ミステリ。

産経新聞 2022/08/28

2022:7./ 370p
978-4-16-391564-7
¥1,980〔税込〕

ぼくらに嘘がひとつだけ

綾崎 隼 著
文藝春秋
エリート棋士の父を持つ京介と、落ちこぼれ女流棋士の息子・千明。プロ棋士を目指し、奨励会の階段を駆け上がる二人の天才少年に、出生時の取り違え疑惑が浮上し…。運命と闘う勝負師達の物語。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

産経新聞 2022/08/28

2022:7./ 373p
978-4-16-391568-5
¥1,760〔税込〕

三浦按針の謎に迫る～家康を支えたイギリス人臣下の実像～

森 良和／フレデリック・クレインス／小川 秀樹 著
玉川大学出版部
日本近世史上、例外的なグローバル時代であった江戸初期に様々な役割を果たしたイギリス人・三浦按針。その実像を、オランダで発見された新史料、伝按針墓の遺骨の科学分析等の近年の知見をふまえて明らかにする。

産経新聞 2022/08/28

2022:7./ 334p
978-4-472-30314-2
¥2,860〔税込〕

快適なトイレ～便利・清潔・安心して滞在できる空間～(進化するトイレ)

日本トイレ協会 編
柏書房
日本のトイレが世界に誇れるようになったのはどうして? そもそも快適なトイレって何? 快適さを求めて日々進化する日本のトイレのこれまでとこれからを、あますところなく紹介する。

産経新聞 2022/08/28

2022:7./ 344p
978-4-7601-5467-8
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

空と大地に出会う夏(くもんの児童文学)

濱野　京子 著
くもん出版
成績優秀、スポーツもピアノもそつなくこなす小学6年生のリイチは、ピアノのレッスンの帰りに、同じ学校の女子・海空良と出会う。彼女に連れられてリイチが向かったのは、転校していった中上大智の家で…。ひと夏の成長物語。

産経新聞 2022/08/28

2022:7./ 179p
978-4-7743-3379-3
¥1,430〔税込〕

本屋という仕事

三砂 慶明 編
世界思想社
本と人が集い、直接触れあえる場所、本屋。書店員は仕事に何を求め、自分の個性をどう生かし、どんな仕事をつくってきたのか。18人の書店員が本屋の仕事を語る。鼎談、ブックリスト、書店マップも収録。

産経新聞 2022/08/28

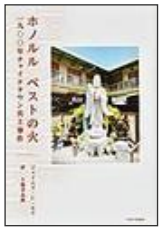
2021:6./ 215p
978-4-7907-1770-6
¥1,870〔税込〕

俳句がよくわかる文法講座～詠む・読むためのヒント～

井上 泰至／堀切 克洋 著
文学通信
俳句は、日本語の長い伝統を踏まえ生かしていく詩。俳句を詠む・読むために必要な古語や文法の知識に絞って、それがなぜ問題になるのかを解きほぐしながら、文法への心構えと注意点が身に付くように説明する。

産経新聞 2022/08/28

2022:7./ 319p
978-4-909658-79-1
¥2,090〔税込〕



ホノルル ペストの火～1900年チャイナタウン炎上事件～

ジェイムズ・C・モア 著
生活の医療
ホノルルのチャイナタウンを中心にペストが襲った。3人の医師は汚染された建物の焼き払う策に出るが、火は突風で燃え広がり、チャイナタウンのほぼ全域が焼け落ち…。公衆衛生政策の勝利と、人種差別と帝国主義の悲劇の記録。

産経新聞 2022/08/28

2022:8./ 332p,18p
978-4-910700-02-1
¥2,200〔税込〕

どっちが強い!?ミズダコ vs ノコギリエイ～海底忍者の大一番～(角川まんが科学シリーズ A28)

スライウム／ブラックインクチーム 著
KADOKAWA
ミズダコとノコギリエイ、どっちが強い!? 戦う能力の近い動物同士の対戦を、大迫力のオールカラーまんがで描くシリーズ。各章の「動物百科事典」では、緻密に描かれたビジュアルとともに野生動物についての情報を掲載。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 154p
978-4-04-112290-7
¥1,078〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

一瞬の光(角川文庫)

白石　一文／角川書店装丁室 著
角川書店
38 歳の若さで日本を代表する企業の人事課長に抜擢されたエリートサラリーマンと、暗い過去を背負う短大生。二人が出会って生まれた刹那的な非日常世界を描いた感動の物語。直木賞作家、鮮烈のデビュー作。

朝日新聞 2022/08/06

2003:8./ 589p
978-4-04-372001-9
¥836〔税込〕

管絃祭(講談社文芸文庫)

竹西　寛子 著
講談社
朝日新聞 2022/08/06

1997:3./ 250p
978-4-06-197559-0
¥1,100〔税込〕

赤ヘル 1975(講談社文庫　し 61-23)

重松 清 著
講談社
弱小球団・広島カープの帽子が赤に変わった 1975 年。原爆の傷痕が残る広島に転校してきたマナブは野球少年ヤスと新聞記者志望のユキオに出会い街に少しずつ馴染んでいく。カープは初優勝に向け真っ赤な奇跡を起こし…。

朝日新聞 2022/08/06

2016:8./ 631p
978-4-06-293479-4
¥968〔税込〕

永田町動物園～日本をダメにした 101 人～

亀井 静香 著
講談社
安倍晋三を一喝し、小沢一郎に恐れられた亀井静香が、自身を含む 101 人の政治家の素顔と、永田町の知られざるエピソードを明かす。『週刊現代』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2022/08/06

2021:11./ 298p
978-4-06-526069-2
¥1,760〔税込〕

おいしいコーヒーのいれ方<Second Season:アナザーストーリー> てのひらの未来(JUMP J BOOKS)

村山 由佳 著
集英社
オーストラリアから緊急帰国し、かれんとの未来を模索する勝利。丈やりつ子らもまた、新たな一歩を踏み出そうとしていた…。『web 集英社文庫』配信に加筆修正。集英社文庫版も同時刊行(小説部分は同一)。

朝日新聞 2022/08/06

2022:5./ 250p
978-4-08-703522-3
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

てのひらの未来(集英社文庫　おいしいコーヒーのいれ方 む 5-38 Second Season:アナザーストーリー)

村山 由佳 著
集英社
オーストラリアから緊急帰国し、かれんとの未来を模索する勝利。丈やりつ子らもまた、新たな一歩を踏み出そうとしていた…。『web 集英社文庫』配信に加筆修正。JUMP J BOOKS 版も同時刊行(小説部分は同一)。

朝日新聞 2022/08/06

2022:5./ 269p
978-4-08-744382-0
¥638〔税込〕

F ショパンとリスト(集英社文庫　た 97-1)

高野 麻衣 著
集英社
19 世紀、パリ。ピアノの神童として注目されていたショパンとリストは出会ってすぐに無二の親友となった。だが、故国を追われたショパンは誰にも明かせない秘密を胸に秘めており…。天才音楽家たちの友情と波乱の生涯を描く。

朝日新聞 2022/08/06

2022:6./ 203p
978-4-08-744405-6
¥594〔税込〕

風よあらしよ

村山 由佳 著
集英社
服従するな。立ち上がれ-。婦人解放運動家・伊藤野枝。明治・大正を駆け抜けた彼女の短くも鮮烈な生涯を描く。史実をもとにしたフィクション。『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

朝日新聞 2022/08/06

2020:9./ 651p
978-4-08-771722-8
¥2,200〔税込〕

道

白石 一文 著
小学館
娘の交通事故死。自殺未遂の隘路から抜け出せない妻。あれを試すしかないのか? 高校時代に目にした絵の前に 40 年ぶりに立った男は、気付けば娘の交通事故が起こる直前の交差点にいて…。『小説丸』配信を加筆改稿し書籍化。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 542p
978-4-09-386649-1
¥2,200〔税込〕

1793(小学館文庫 ナ 1-1)

ニクラス・ナット・オ・ダーグ 著
小学館
1793 年。貧しく汚く腐敗したストックホルム。湖で発見された男の死体は四肢と両眼、舌と歯を奪われ、美しい金髪だけが残っていた。重い結核に冒された法律家ヴィンゲは、戦場帰りの風紀取締官カルデルと捜査に乗り出す。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 573p
978-4-09-407162-7
¥1,342〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

劇光仮面(ビッグ コミックス)

山口 貴由 著
小学館
これは星をつなぐ者たちの物語である。　　僕は何者でもない。僕は器に過ぎない。——それこそが僕の強さだ。　そんな想いを胸に秘め、29 歳の青年、実相寺二矢はアルバイトで日々を暮らす。　舞台は「現代」、テーマは「特撮」、主人公は“何者にもあらず”！？！？　『シグルイ』『覚悟のススメ』の鬼才、完全新境地の最新作！ 我々は山口貴由の本当の才能をまだ知らなかった。

朝日新聞 2022/08/06

2022:6./ 280p
978-4-09-861363-2
¥825〔税込〕

黒い雨　改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著
新潮社
朝日新聞 2022/08/06

2003:5./ 403p
978-4-10-103406-5
¥781〔税込〕

日蝕・一月物語(新潮文庫）　　397p 2011

平野 啓一郎 著
新潮社
錬金術の秘蹟、金色に輝く両性具有者（アンドロギュノス）、崩れゆく中世キリスト教世界を貫く異界の光……。華麗な筆致と壮大な文学的探求で、芥川賞を当時最年少受賞した衝撃のデビュー作「日蝕」。明治三十年の奈良十津川村。蛇毒を逃れ、運命の女に魅入られた青年詩人の胡蝶の夢の如き一瞬を、典雅な文体で描く「一月物語」。閉塞する現代文学を揺るがした二作品を収録し、平成の文学的事件を刻む。

朝日新聞 2022/08/06

2011:1./ 397p
978-4-10-129040-9
¥737〔税込〕

地中海帝国の片影～フランス領アルジェリアの 19 世紀～

工藤　晶人 著
東京大学出版会
19 世紀地中海世界における「ヨーロッパ」と「非ヨーロッパ」の交流と軋轢を描き出し、フランスが北アフリカに及ぼした影響から浮かび上がる「地中海帝国」の片影に迫る。

朝日新聞 2022/08/06

2013:3./
9p,302p,129p
978-4-13-026144-9
¥8,580〔税込〕

翻訳書簡『赤毛のアン』をめぐる言葉の旅

上白石 萌音／河野 万里子 著
ＮＨＫ出版
俳優・上白石萌音が、翻訳家の河野万里子から手紙で手ほどきを受けながら、「赤毛のアン」の名場面の翻訳に挑戦する。NHK テキスト『ラジオ英会話』連載に加筆。上白石萌音による訳文の朗読音声ダウンロード付き。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 217p
978-4-14-035181-9
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

嘘と正典(ハヤカワ文庫 JA 1527)

小川　哲 著
早川書房
マルクスとエンゲルスの出逢いを阻止することで共産主義の消滅を企む CIA を描いた表題作をはじめ、稀代のマジシャンが本物の時間旅行に挑む「魔術師」など、全 6 篇を収録。日本 SF と世界文学を接続する著者初の短篇集。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 317p
978-4-15-031527-6
¥924〔税込〕

星々の舟(文春文庫)

村山 由佳 著
文芸春秋
禁断の恋に悩む兄妹、他人の男ばかり好きになる末娘、居場所を探す団塊の兄、そして父は戦争の傷を抱いて……心震える家族の物語

朝日新聞 2022/08/06

2006:1./ 431p
978-4-16-770901-3
¥825〔税込〕

ダブル・ファンタジー<上>(文春文庫　む 13-3）　301p 2011

村山 由佳 著
文藝春秋
女としての人生が終わる前に性愛を極める恋がしてみたい。35 歳の脚本家・高遠奈津の性の彷徨が問いかける夫婦、男、自分自身

朝日新聞 2022/08/06

2011:9./ 301p
978-4-16-770903-7
¥638〔税込〕

ダブル・ファンタジー<下>(文春文庫　む 13-4）　294p 2011

村山 由佳 著
文藝春秋
朝日新聞 2022/08/06

2011:9./ 294p
978-4-16-770904-4
¥704〔税込〕

デジタル空間とどう向き合うか～情報的健康の実現をめざして～(日経プレミアシリーズ　478)

鳥海不二夫／山本龍彦 著
日経ＢＰ社
インターネットは利便性を高める一方で、私たちの「健康」を蝕んでいる。計算社会科学者と憲法学者が、デジタル空間に潜むさまざまな問題点を指摘し、解決への糸口を探る。巻末に「共同提言デジタル・ダイエット宣言」を掲載。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 275p
978-4-296-11433-7
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

星屑

村山 由佳 著
幻冬舎
田舎者のミチル、サラブレッドの真由、少女たちをスターダムに押し上げようとする女性マネージャー。必死にもがく少女たちと、大人たちの様々な思惑が織りなす、スター誕生物語を描く。『宮崎日日新聞』など掲載を加筆修正。

朝日新聞 2022/08/06

2022:7./ 438p
978-4-344-03979-7
¥1,980〔税込〕

原爆投下、米国人医師は何を見たか～マンハッタン計画から広島・長崎まで、隠蔽された真実～

ジェームズ・L・ノーラン Jr. 著
原書房
無視された医師たちの警告、隠蔽された残留放射線の実態-。マンハッタン計画に参加し、原爆投下直後の日本へも調査に訪れた米国人医師が残した資料から、彼らの葛藤と共謀を描き、核の時代の黎明期そのものを浮き彫りにする。

朝日新聞 2022/08/06

2022:6./ 353p,42p
978-4-562-07186-9
¥2,750〔税込〕

それいけズッコケ三人組(ポプラ社文庫)

那須 正幹 著
ポプラ社
花山第二小学校六年のズッコケ三人組は、きょうも男たる証明と栄光を求めて、青空の下にかけだしていきました。

朝日新聞 2022/08/06

1994:3./ 202p
978-4-591-01013-6
¥660〔税込〕

ヒロシマ<1949> 歩きだした日(ポプラ文庫 な 13-2)

那須 正幹 著
ポプラ社
お好み焼の店をきりもりする 3 代の女性の生き方を通して、戦後人々はどのように生きたのかをたどる。1945 年 8 月、原爆が炸裂した広島。靖子は幼い娘の和子をつれてなんとか逃げのびる。やがてお好み焼の店を開き…。

朝日新聞 2022/08/06

2015:6./ 305p
978-4-591-14558-6
¥748〔税込〕

「音大卒」は武器になる

大内 孝夫、武蔵野音楽大学 著
ヤマハミュージックメディア
元銀行員で音楽大学に勤務する著者が、音大生の自立について徹底的に分析。音楽に打ち込んだ経験を活かしながら、幸せなキャリアを築く方法を紹介する。音大生の就職マニュアルや、フリー演奏家の税金事例研究等も掲載。

朝日新聞 2022/08/06

2015:2./ 193p
978-4-636-91065-0
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

音大崩壊～音楽教育を救うたった 2 つのアプローチ～

大内孝夫 著

ヤマハミュージックメディア

音大はどこで道を間違えたのか。生き残るにはどうしたらよいか。音楽を教える意味、学ぶ意味は何か。数々のデータから音大の隠された危機を明らかにし、文化・芸術の存在感向上のために必要な学校教育改革を考える。

朝日新聞 2022/08/06

2022:5./ 261p
978-4-636-97832-2
¥1,760〔税込〕

ダマして生きのびる虫の擬態

海野 和男 著

草思社

葉っぱや枝のふりをするコノハムシ、カレハカマキリ、背景に溶け込むキノカワガ、ベニシタバ、メダマ模様で驚かせて逃げるクスサン…。擬態する虫を豊富なカラー写真とともに紹介する。動画が視聴できる QR コード付き。

朝日新聞 2022/08/06

2022:6./ 119p
978-4-7942-2580-1
¥2,640〔税込〕

死刑について

平野 啓一郎 著

岩波書店

死刑を存置することで、社会は何を失うのか-。「生」と「死」をめぐり真摯に創作を続けてきた小説家が、自身の体験を交え根源から問う。2019 年開催の大阪弁護士会主催の講演をもとに書籍化。

朝日新聞 2022/08/06、東京・中日新聞 2022/08/07

2022:6./ 6p,124p,7p
978-4-00-061540-2
¥1,320〔税込〕

国際報道を問いなおす～ウクライナ戦争とメディアの使命～(ちくま新書 1668)

杉田　弘毅 著

筑摩書房

ウクライナ報道は、これでいいのか? 戦争によって浮き彫りになった日本メディアの抱えるジレンマを指摘するとともに、激変する世界を前に国際報道が果たすべき役割を考える。

朝日新聞 2022/08/06、東京・中日新聞 2022/08/28

2022:7./ 268p
978-4-480-07494-2
¥968〔税込〕

N/A

年森 瑛 著

文藝春秋

松井まどか、高校 2 年生。うみちゃんと付き合って 3 か月。体重計の目盛りはしばらく、40 を超えていない-。優しさと気遣いの定型句に苛立ち、肉体から言葉を絞り出そうともがく魂を描く。『文學界』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/08/06、読売新聞 2022/08/14

2022:6./ 114p
978-4-16-391562-3
¥1,485〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

両岸の旅人～イスマイル・ユルバンと地中海の近代～(シリーズ・グローバルヒストリー　3)

工藤　晶人 著
東京大学出版会
グローバルヒストリーの方法を用いて、世界史の新しい見方を提示するシリーズ。19世紀の地中海史を、奴隷制と人種主義、キリスト教圏とイスラーム圏の相克など境界を生きた人たちのまなざしから論じる。

朝日新聞 2022/08/06、毎日新聞 2022/08/06

2022:6./ 6p,302p,12p
978-4-13-025173-0
¥3,300〔税込〕

算数文章題が解けない子どもたち～ことば・思考の力と学力不振～

今井 むつみ／楠見 孝／杉村 伸一郎／中石 ゆうこ／永田 良太／西川 一二／渡部 倫子 著
岩波書店
つまずきには原因がある。学力の基盤となることばの知識、数・形の概念理解、推論能力を測るテストを開発した著者らが、その内容や実施結果を紹介。それで測る力が算数・国語の学力とどのような関係にあるのかを検討する。

朝日新聞 2022/08/13

2022:6./ 12p,212p
978-4-00-005415-7
¥2,420〔税込〕

老記者の伝言～日本で 100 年、生きてきて～(朝日文庫　む 16-1)

むのたけじ 著
朝日新聞出版
敗戦の日に新聞社を辞めて秋田で週刊新聞『たいまつ』を創刊。社会の矛盾や不正を訴え続けてきた著者が、戦争、原発や差別などの問題を考えぬき、大切なことは何かを語りつくす。年表、次男によるエッセイも収録。

朝日新聞 2022/08/13

2022:7./ 286p
978-4-02-262068-2
¥880〔税込〕

黄昏映画館～わが日本映画誌～

上野昂志 著
国書刊行会
伊藤大輔から小津安二郎、鈴木清順、北野武、濱口竜介まで-。映画評論家・上野昂志による 50 年にわたる日本映画論を、監督別(生年順)に並べて集成。日本映画ベスト 50 も掲載。

朝日新聞 2022/08/13

2022:6./ 957p,23p
978-4-336-07297-9
¥7,700〔税込〕

近代日本の競馬～大衆娯楽への道～(叢書パルマコン・ミクロス 02)

杉本 竜 著
創元社
戦前唯一の「公認賭博」であり、かつ知的推理を伴う大衆娯楽だった競馬。陸軍・興行主・宮内省など諸勢力の攻防や、賭けを楽しむ庶民の姿を、様々な史料を駆使して細部までリアルに描き、歴史学的に様々な相貌を明らかにする。

朝日新聞 2022/08/13

2022:6./ 341p
978-4-422-70126-4
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ドライブイン探訪(ちくま文庫　は 55-1)

橋本　倫史 著
筑摩書房
人の歴史、店の歴史、日本の戦後史が見えてくる-。道路沿いにひっそりと佇むドライブイン。クルマ社会、外食産業の激変を受けながら、ドライバーたちに食事を提供し続けた人々の人生と思いに迫るノンフィクション。

朝日新聞 2022/08/13

2022:7./ 428p
978-4-480-43817-1
¥990〔税込〕

流浪の月(創元文芸文庫 LA な 1-1)

凪良 ゆう 著
東京創元社
愛ではない。けれどそばにいたい-。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた小説。2022 年 5 月公開映画の原作。

朝日新聞 2022/08/13

2022:2./ 355p
978-4-488-80301-8
¥814〔税込〕

ファシズム～警告の書～

マデレーン・オルブライト 著
みすず書房
ナチズムとスターリニズムの脅威を体験したアメリカ初の女性国務長官が、対峙した各国指導者の印象を交えながら、国内外で高まっている危険な兆候を国別に分析。その特徴と克服のための道筋を論じる。

朝日新聞 2022/08/13

2020:10./
6p,270p,16p
978-4-622-08943-8
¥3,300〔税込〕

現代政治の思想と行動

丸山　眞男 著
未来社
著者が戦後発表した政治学ないし、現代政治の問題に関連する主要な論文を収めたもの。主要テーマにしたがって 3 部門に整理。第 1 部現代日本政治の精神状況、第 2 部イデオロギーの政治学、第 3 部「政治的なるもの」とその限界。

朝日新聞 2022/08/13

2006:8./ 585p
978-4-624-30103-3
¥4,180〔税込〕

夕暮れに夜明けの歌を～文学を探しにロシアに行く～

奈倉有里 著
イースト・プレス
ロシアは今、どうなっているのか-。高校卒業後、単身ロシアに渡り、ロシア国立ゴーリキー文学大学日本人初の卒業生となった著者が、テロ・貧富・宗教により分断が進み、状況が激変していくロシアのリアルを活写する。

朝日新聞 2022/08/13

2021:10./ 269p
978-4-7816-2012-1
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

月経の人類学～女子生徒の「生理」と開発支援～

杉田 映理／新本 万里子 編
杉田 映理、新本 万里子 著
世界思想社
月経をめぐり、MHM(月経衛生対処)の支援という国際開発の大きなうねりが急速に広がっている。インド、ケニア、日本など各地の月経対処の現状をローカルな文脈の中でとらえ、MHM 支援に対する示唆を抽出する。

朝日新聞 2022/08/13

2022:6./ 302p
978-4-7907-1768-3
¥3,850〔税込〕

グローバル開発史～もう一つの冷戦～

サラ・ロレンツィーニ 著
名古屋大学出版会
開発はなぜ、いかにしてなされたのか。東西両陣営内の軋轢、国際機関などの活動を描き出し、旧植民地・途上国との相克も視野に、「開発」の誕生から冷戦後までの、無数の思惑が交錯する複雑な歴史の全体像をとらえる。

朝日新聞 2022/08/13

2022:6./
6p,270p,106p
978-4-8158-1090-0
¥3,740〔税込〕

カヨと私

内澤旬子 著
本の雑誌社
小豆島でヤギと暮らしはじめた著者。カヨと名付けたヤギを、気づけば「どっちが飼い主?!」と笑われるほど世話をし、ともに時間を過ごして…。著者が描いたイラストも多数収録。『母の友』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/08/13

2022:7./ 252p
978-4-86011-470-1
¥2,200〔税込〕

汝、星のごとく

凪良 ゆう 著
講談社
瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた櫂。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していき…。『小説現代』掲載を加筆改稿し単行本化。

朝日新聞 2022/08/13、産経新聞 2022/08/21

2022:8./ 344p
978-4-06-528149-9
¥1,760〔税込〕

東京四次元紀行

小田嶋隆 著
イースト・プレス
稀代のコラムニストがはじめて書いた、東京 23 区と周辺に散在する街について綴ったショートストーリー集。「残骸-新宿区」「穴-墨田区」など、全 32 編を収録。『月刊サイゾー』ほか掲載をもとに書籍化。

朝日新聞 2022/08/13、東京・中日新聞 2022/08/28

2022:6./ 301p
978-4-7816-2102-9
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

大東亜共栄圏～帝国日本のアジア支配構想～(中公新書　2707)

安達 宏昭 著
中央公論新社
第二次世界大戦下、日本を盟主とし、アジアの統合を目指す国策「大東亜共栄圏構想」。それは独伊と連動し世界分割を目論むものでもあったが、戦局悪化後、変容し迷走する。立案から破綻まで混迷の軌跡を描く。

朝日新聞 2022/08/13、毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 4p,260p
978-4-12-102707-8
¥968〔税込〕

仏教の大東亜戦争(文春新書　1365)

鵜飼 秀徳 著
文藝春秋
なぜ仏教は国民を“殺生”に駆り立てたのか。仏教界が生存をかけて、いかに国家にすり寄り、植民地政策や戦争に加担し、自らを正当化していったのかを、具体事例とともに分かりやすく紐解く。

朝日新聞 2022/08/13、毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 286p
978-4-16-661365-6
¥1,210〔税込〕

水上バス浅草行き

岡本真帆 著
ナナロク社
現場から病院までの犬という犬を吠えさせてゆく救急車 この街はどこも消毒済みだから手書きの誤字がとてもうれしい 水上の乗り物からは手を振っていい気がしちゃうのはなぜだろう 第1歌集。

朝日新聞 2022/08/14

2022:3./ 162p
978-4-86732-010-5
¥1,870〔税込〕

応援消費～社会を動かす力～(岩波新書 新赤版 1934)

水越 康介 著
岩波書店
ふるさと納税、推しのアイドル…。消費することで応援しようとする新しい「お金の使い方」が、社会を動かす大きなエネルギーとなっている。この応援消費に焦点を当て、新時代のマーケティング思考のメカニズムを解説する。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 13p,205p
978-4-00-431934-4
¥968〔税込〕

戦争は女の顔をしていない(岩波現代文庫　社会 295)

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店
ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。五百人以上の従軍女性から聞き取りをおこない戦争の真実を明らかにした、ノーベル文学賞作家の主著。

朝日新聞 2022/08/20

2016:2./ 6p,498p
978-4-00-603295-1
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

椿宿の辺りに(朝日文庫　な 37-2)

梨木香歩 著
朝日新聞出版
三十肩と鬱で難儀している皮膚科学研究員の山幸彦。外祖母・早百合の夢枕に立った祖父からの伝言を託され、山幸彦は祖先の地・椿宿へと向かう…。「f 植物園の巣穴」の姉妹編。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 376p
978-4-02-265041-2
¥759〔税込〕

シリアからきたバレリーナ

キャサリン・ブルートン 著
偕成社
ふるさとシリアでも、難民キャンプでも、イギリスでも、アーヤにはいつもバレエがあった-。内戦を逃れ、海を渡った少女の再生の物語。イギリスの児童文学賞“カーネギー賞”ノミネート作品。

朝日新聞 2022/08/20

2022:1./ 302p
978-4-03-726960-9
¥1,650〔税込〕

翡翠色の海へうたう

深沢　潮 著
KADOKAWA
誰からも必要とされず、冴えない日々を送る葉奈は、人生逆転を懸けて小説家デビューを目指す。慰安婦女性や戦争に弄された哀れな女性たちが書くべきテーマだと感じた葉奈は、沖縄へ飛ぶが…。『カドブンノベル』掲載を書籍化。

朝日新聞 2022/08/20

2021:8./ 239p
978-4-04-111079-9
¥1,760〔税込〕

言葉の展望台

三木 那由他 著
講談社
アイデンティティと一人称、人々をつなげる言葉、誠実な謝罪と不誠実な謝罪…。難しくて切実で面白い「言葉とコミュニケーション」を、「哲学」と「私」のあいだのリアルな言葉で綴ったエッセイ集。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 157p
978-4-06-528345-5
¥1,430〔税込〕

踊れ獅子堂賢（1）(モーニング　KC)

常喜 寝太郎 著
講談社
女性用下着メーカー「シェリル」の二代目社長・獅子堂賢は、いわゆる“お飾り社長”。仕事でもプライベートでも自信を持てず、「エンジンのかけ方」を忘れてしまったかのような毎日。 だがある日、獅子堂賢は運命の出会いを果たす。 久しぶりにドキドキし、久しぶりに汗をかき、久しぶりに自然と笑みがこぼれた相手。 それは……自分の会社の女子新入社員・椎名まなかだった！　社長と新入社員の、人生再起動ストーリー！

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 192p
978-4-06-528461-2
¥715〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

コークスが燃えている

櫻木 みわ 著
集英社
非正規で働く私は別れた恋人と再び付き合い始めて…。現代女性が遭遇する社会の実相を、かつて炭鉱で労働を担った女性たちに心を寄せつつ描いた中編小説。『すばる』掲載を書籍化。

朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 157p
978-4-08-771795-2
¥1,650〔税込〕

ラブレス(新潮文庫　さ-82-1)

桜木 紫乃 著
新潮社
中学卒業と同時に奉公に出され、やがては旅芸人一座に飛び込んだ百合江。妹の里実は地元で、理容師の道を歩み始める…。流転する百合江と堅実な妹の 60 年に及ぶ絆を軸に、姉妹の母や娘たちを含む女 3 世代の凄絶な人生を描く。

朝日新聞 2022/08/20

2013:12./ 413p
978-4-10-125481-4
¥781〔税込〕

緋の河(新潮文庫　さ-82-5)

桜木 紫乃 著
新潮社
昭和の釧路。色白小柄で幼少期から「女になりかけ」とからかわれた秀男は、自分が自分らしく生きるため、逆境に立ち向かい、やがて札幌、東京、大阪の夜の街、そして芸能界へ道を切り拓き…。カルーセル麻紀を題材にした物語。

朝日新聞 2022/08/20

2022:4./ 638p
978-4-10-125485-2
¥1,045〔税込〕

孤蝶の城

桜木 紫乃 著
新潮社
秀男はモロッコで手術を受け、日本で初めて「女の体」を手に入れるが、やがて追い詰められていき…。自己と闘う思春期を描いた「緋の河」に続き、世間と闘う激動期を活写する。『小説新潮』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/08/20

2022:5./ 472p
978-4-10-327726-2
¥2,090〔税込〕

私の名前はルーシー・バートン(ハヤカワ epi 文庫 102)

エリザベス・ストラウト 著
早川書房
予想外の長期入院をすることになった 30 代の作家。夫や幼い娘たちと離れ、孤独に苦しむ彼女のもとを、疎遠だった母が訪れる。そして 2 人はぽつぽつと言葉を交わしはじめ…。日常にひそむ様々な感情を繊細に描く。

朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 229p
978-4-15-120102-8
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ディフェンス(河出文庫　ナ 2-5)

ウラジーミル・ナボコフ 著
河出書房新社
天才チェスプレイヤー、ルージン。唯一の幸福をもたらすはずのチェスが、彼を狂気へと追いやっていく-。何よりもチェスを愛した作家が描いた、孤高の物語。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 333p
978-4-309-46755-9
¥1,265〔税込〕

ウンコの教室～環境と社会の未来を考える～(ちくまプリマー新書　409)

湯澤　規子 著
筑摩書房
汚くて恥ずかしいものとして嫌われがちなウンコですが、生産や消費と同じように、人生には欠かせません。ウンコを取り上げ、未来や社会、環境、そして生きることについて考えます。

朝日新聞 2022/08/20

2022:8./ 220p
978-4-480-68434-9
¥924〔税込〕

日本の知、どこへ～どうすれば大学と科学研究の凋落を止められるか?～

共同通信社「日本の知、どこへ」取材班 著
日本評論社
過度の選択と集中で大学の研究費が不足し、多くの現場が疲弊していることにより、危機的な状況にある日本の知。その処方箋を探る。共同通信社が配信した連載企画を加筆するなどして書籍化。

朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 279p
978-4-535-78950-0
¥1,980〔税込〕

コロナに翻弄された甲子園～名将たちが伝えたかったこと～

小山宣宏 著
双葉社
2020 年、新型コロナウィルスの影響を受けた高校野球。強豪校の監督たちは選手に何を伝えたのか。この年に高校 3 年生だった選手たちは「失われた甲子園」をどう受け止めたのか。全国 8 校の名門高校硬式野球部の監督が語る。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 261p
978-4-575-31729-9
¥1,870〔税込〕

帝国のフロンティアをもとめて～日本人の環太平洋移動と入植者植民地主義～

東 栄一郎 著
名古屋大学出版会
環太平洋で展開した日本人移植民の相互関係を、入植者植民地主義の概念を用いて把握。移民排斥を受けた日系アメリカ人によって移転された人流、知識、技術などを捉え、見過ごされたグローバルな帝国の連鎖を浮かび上がらせる。

朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 5p,345p,76p
978-4-8158-1092-4
¥5,940〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

オーソンとランチを一緒に

ピーター・ビスキンド 編
オーソン・ウェルズ／ヘンリー・ジャグロム 著
木魂社
「市民ケーン」「第三の男」など、映画史の頂点を極めた伝説の天才監督にしてスター、オーソン・ウェルズ。最晩年にレストランで友人と会食した時の会話音源を発掘。人生と作品の秘密をあかす名言の玉手箱。しおり付き。

朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 409p,14p
978-4-87746-120-1
¥6,380〔税込〕

ポール・ヴァーゼンの植物標本

ポール・ヴァーゼン／堀江 敏幸 著
リトル・モア
100 年ほど前、スイスやフランスの高山で採取された植物。異国の 1 人の女性が心をこめてつくった、美しい数十葉の植物の標本を紹介する。堀江敏幸による掌編「記憶の葉緑素」も収録。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 134p,4p
978-4-89815-561-5
¥2,200〔税込〕

今日の人生

益田ミリ 著
ミシマ社
わたしの人生に降りかかってくる面倒なできごと。すべて作品に昇華してみせる、と改めて思った今日の人生-。益田ミリが日々思ったことを漫画で描く。『みんなのミシマガジン』連載を再構成し、書き下ろしを加える。

朝日新聞 2022/08/20

2017:4./ 237p
978-4-903908-94-6
¥1,650〔税込〕

ダイアローグ

ヴァージル・アブロー 著
アダチプレス
オフ-ホワイト設立、ルイ・ヴィトン初の黒人デザイナー就任など、壁を破り、境界を越え続けたクリエイター、ヴァージル・アブロー。その 2016 年から 2021 年までの主要な対話 9 本を厳選収録する。

朝日新聞 2022/08/20

2022:7./ 199p
978-4-908251-15-3
¥1,980〔税込〕

世界は五反田から始まった(ゲンロン叢書 011)

星野博美 著
ゲンロン
祖父が残した手記。そこに綴られていたのは、家族が生きてきた土地・五反田の記録だった-。大宅壮一ノンフィクション賞作家が、五反田を襲った「もうひとつの東京大空襲」について記す。『ゲンロン β』連載を加筆修正。

朝日新聞 2022/08/20、日本経済新聞 2022/08/20、東京・中日新聞 2022/08/21

2022:7./ 364p
978-4-907188-45-0
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

忘却にあらがう～平成から令和へ～

東浩紀 著
朝日新聞出版
いま必要なのは、「意味」を探る力である-。2017 年から 2022 年まで、5 年間にわたって哲学者・東浩紀が書き綴った時評集。『AERA』『文藝』掲載を書籍化。

朝日新聞 2022/08/27

2022:8./ 300p
978-4-02-251856-9
¥1,980〔税込〕

うちのおかあちゃん

小手鞠るい 著
偕成社
目が見えない、口が悪い、意地も悪いおかあちゃん。でも三味線がうまくて、ガッツがあって、やさしくて美人!? 小手鞠るいが自身の母のことを、岡山弁で綴った絵本。こしだミカのダイナミックな絵がストーリーを盛り上げる。

朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 32p
978-4-03-350230-4
¥1,430〔税込〕

遺産相続を放棄します(角川文庫　き 48-1)

木元　哉多 著
KADOKAWA
室町時代から続く名家・榊原家。当主の道山が亡くなり、家の古い習わしから孫の俊彦に多額の遺産が相続されるはずだったが、俊彦はその権利を放棄。妻の景子は、なんとか夫を翻意させようとするが…。

朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 385p
978-4-04-112542-7
¥880〔税込〕

国際紛争を読み解く五つの視座～現代世界の「戦争の構造」～(講談社選書メチエ　614)

篠田 英朗 著
講談社
もはや主権国家だけがアクターではない国際社会の冷厳な現実を見据える、醒めた分析力をやしなうための一冊。現代国際社会の全体動向のなかで紛争を理解するために、代表的な理論を題材として、構造的に武力紛争の背景を探る。

朝日新聞 2022/08/27

2015:12./ 300p
978-4-06-258617-7
¥2,035〔税込〕

長い長い夜

ルリ 著
小学館
地球で最後の一頭となったシロサイが、その懐で生まれたペンギンの子に、その最後の力をふりしぼって伝えたかったこととは…。つらくて眠れないような長い長い夜があったとしても、精一杯生きようという勇気がわいてくる物語。

朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 143p
978-4-09-290657-0
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ホス狂い～歌舞伎町ネバーランドで女たちは今日も踊る～(小学館新書 428)

宇都宮 直子 著
小学館
県をまたいで週5で歌舞伎町に通い詰める人妻、「好きで好きで仕方なかった」という動機でホストを刺した女…。人生のすべてを賭けてホストクラブに通う女性たちは何を得ようとしたのか。歌舞伎町ノンフィクション。

朝日新聞 2022/08/27

2022:8./ 270p
978-4-09-825428-6
¥990〔税込〕

ウクライナ・ナショナリズム～独立のディレンマ～

中井 和夫 著
東京大学出版会
ソ連時代のウクライナの民族運動・対ロシア関係、ソ連解体後の民族関係、および独立迄のプロセスと独立後のディレンマについて考察。ナショナリズムを世に問うた研究書。

朝日新聞 2022/08/27

1998:11./ 265,8p
978-4-13-036093-7
¥7,920〔税込〕

夜に星を放つ

窪 美澄 著
文藝春秋
もう何も失いたくない。でもまた人と関わりたいと思った-。「真夜中のアボカド」「銀紙色のアンタレス」など、心の揺らぎが輝きを放つ全5編を収録した短編集。『オール讀物』掲載を書籍化。

朝日新聞 2022/08/27

2022:5./ 220p
978-4-16-391541-8
¥1,540〔税込〕

いけない(文春文庫 み 38-5)

道尾 秀介 著
文藝春秋
友達のいない少年が目撃した殺人現場は本物か? 偽物か? 各章の最終ページを捲ると現れる地図や写真の意味が解った瞬間、物語の別の顔が見えてくる…。驚愕ミステリー。

朝日新聞 2022/08/27

2022:8./ 269p
978-4-16-791915-3
¥715〔税込〕

がっこうにまにあわない

ザ・キャビンカンパニー 著
あかね書房
7時47分。寝坊してしまった小学生の男の子が玄関を飛び出し、ゴウゴウと走っていく。行く手には大きなみずたまり、散歩中の犬たち、ぐにゃぐにゃの歩道橋! はたして、男の子は学校に間に合うのか?

朝日新聞 2022/08/27

2022:6./ 34p
978-4-251-09955-6
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ルポ プーチンの戦争～「皇帝」はなぜウクライナを狙ったのか～(筑摩選書 0168)

真野　森作 著

筑摩書房

2014 年から、ウクライナで「戦争」が続いている。権力中枢に迫り、破壊された街に潜入して戦闘員と市民の声を聞く。プーチン政権によるハイブリッド戦争の生の姿を報告するルポ。『毎日新聞』掲載記事を基に大幅に加筆。

朝日新聞 2022/08/27

2018:12./ 394p
978-4-480-01676-8
¥1,980〔税込〕

日本の中絶(ちくま新書　1677)

塚原　久美 著

筑摩書房

世界が中絶の権利を人権として認める流れにあるなか、日本では女性差別的イデオロギーが社会に影を落としている。経口中絶薬の承認から配偶者同意要件まで、日本における中絶の問題点と展望を示す。

朝日新聞 2022/08/27

2022:8./ 238p
978-4-480-07499-7
¥990〔税込〕

富士山はいつ噴火するのか?～火山のしくみとその不思議～(ちくまプリマー新書　406)

萬年　一剛 著

筑摩書房

日本の象徴である富士山。ここ 300 年ほど噴火していないが実はとても活発な火山だ。火山学者が富士山をどう考えているのか、そして、富士山についてどの程度わかっていて、何が問題になっているのかを紹介する。

朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 223p
978-4-480-68432-5
¥924〔税込〕

新しい地政学

北岡 伸一／細谷 雄一 編

東洋経済新報社

トランプ、中国の軍備増強、中東情勢、ブレグジット…。「地政学の再台頭」「新しい地政学」と言われる現象について、2015～18 年に行われた共同研究「新しい地政学の時代における国際秩序を考える」の成果をまとめる。

朝日新聞 2022/08/27

2020:2./ 421p
978-4-492-44456-6
¥2,640〔税込〕

フランス革命史～自由か死か～

ピーター・マクフィー 著

白水社

フランス革命はなぜ起きたのか。誰にとってのものだったのか。そして革命が残した遺産とは。当時の詳細な地図や、貴重な図版を多数用いながら、世界的権威がフランス革命の「全史」を描き切る。

朝日新聞 2022/08/27

2022:6./ 497p,98p
978-4-560-09895-0
¥5,280〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

マッキンダーの地政学～デモクラシーの理想と現実～

Ｈ．Ｊ．マッキンダー、曽村　保信 著
原書房
国際関係を動態力学的に把握するマッキンダー地政学の名著であり、今なお世界に影響を与え続ける「ハートランドの戦略論」の全貌を記した最重要文献。

朝日新聞 2022/08/27

2008:9./ 320p
978-4-562-04182-4
¥3,520〔税込〕

世界と日本を目覚めさせたウクライナの「覚悟」

倉井 高志 著
ＰＨＰ研究所
2022 年 2 月 24 日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始した。前ウクライナ大使が、ロシアがこのような行動に出た理由、抵抗し続けるウクライナの力の源泉、安全保障システムのあり方などを考える。

朝日新聞 2022/08/27

2022:6./ 222p
978-4-569-85243-0
¥1,760〔税込〕

香港秘密行動～「勇武派」10 人の証言～

楊威利修 著
草思社
香港の自由は「暴力」でしか守れない! 民主化闘争において警察との激しい衝突で有名になった「勇武派」の若者 10 人にインタビュー。2019 年の騒乱の実態を、海外で逃亡生活を送っている当事者たちが包み隠さず証言する。

朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 286p
978-4-7942-2585-6
¥2,200〔税込〕

本当のウクライナ～訪問 35 回以上、指導者たちと直接会ってわかったこと～(ワニブックス|PLUS|新書 359)

岡部 芳彦 著
ワニブックス
2022 年 2 月 24 日、ロシアのウクライナ侵略が始まって以降、ウクライナへの関心が高まっている。ウクライナ研究の第一人者が、リアルなウクライナの姿とあまり知られていない日本との交流について紹介する。

朝日新聞 2022/08/27

2022:7./ 171p
978-4-8470-6676-4
¥913〔税込〕

タネは旅する～種子散布の巧みな植物～

中西弘樹 著
八坂書房
風に飛ばされ、水に流され、雨滴に弾かれ、アリに運ばれ…。自然の力を巧みに利用して親元から離れ、生活の場を拡大する種子。半世紀にわたり種子散布の研究を重ねてきた著者が、驚きに満ちた植物の知恵と工夫を紹介する。

朝日新聞 2022/08/27

2022:6./ 318p
978-4-89694-331-3
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

十一月の橋～杉原祐之句集～

杉原祐之 著
ふらんす堂
出初式島の生徒も並びをる 装甲車洗ふも御用納かな 霧晴に仰ぐケベック州旗かな 吠ゆるやうに斉唱しをるラガーかな 2010 年から 2020 年 4 月 1 日までの 331 句を収めた第 2 句集。

朝日新聞 2022/08/28

2022:4./ 183p
978-4-7814-1436-2
¥2,750〔税込〕

ふつうの未来～句集～

越智　友亮 著
左右社
ゆず湯の柚子つついて恋を今している 焼きそばのソースが濃くて花火なう 春を暮らす固定電話のなき家に 死後に化石となれぬ臓器や雪催 2006 年から 2022 年までの作品 230 句を収めた第 1 句集。

朝日新聞 2022/08/28

2022:6./ 141p
978-4-86528-088-3
¥1,980〔税込〕

ことり

小川　楓子 著
港の人
豆の花の向かうで会はうロシナンテ たんぽぽの一輪ありて鳩の胸 引つ越しの赤い扉の冬あたたか 2008 年から 2021 年までに詠んだ 291 句をまとめた第 1 句集。

朝日新聞 2022/08/28

2022:5./ 167p
978-4-89629-407-1
¥2,200〔税込〕

私と街たち<ほぼ自伝>

吉本 ばなな 著
河出書房新社
街に自分だけの歴史が積み重なり、深い色になっていく-。子どもの頃に遊んだ街、父の死を見送った道…。東京の「街」から時代を描き出す、吉本ばななの自伝的エッセイ集。『新潮』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

東京・中日新聞 2022/08/07

2022:6./ 147p
978-4-309-03043-2
¥1,650〔税込〕

小泉文夫(音楽家の伝記はじめに読む 1 冊)

ひのまどか 著
ヤマハミュージックメディア
音楽研究の世界で重要な成果を残し、マルチな才能を生かして「民族音楽ブーム」の火付け役ともなった稀代の音楽学者・小泉文夫の生涯を紹介する。子ども向けのクラシック音楽入門書。音楽が試聴できる QR コード付き。

東京・中日新聞 2022/08/07

2022:3./ 301p
978-4-636-97729-5
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ダダ・カンスケという詩人がいた～評伝陀田勘助～

吉田 美和子 著
共和国/editorial republica
ダダを名乗った唯一の詩人としてデビューした陀田勘助(ダダ・カンスケ)。だが筆名と詩を捨てて共産主義者に転向。非合法共産党の地下活動にかかわって投獄され、29 歳で獄死した。その謎の多い生涯に肉薄する。

東京・中日新聞 2022/08/07、毎日新聞 2022/08/13

2022:6./ 373p
978-4-907986-59-9
¥4,070〔税込〕

日本共産党～「革命」を夢見た 100 年～(中公新書　2695)

中北 浩爾 著
中央公論新社
戦前から高度成長期に、巨大な政治的磁場を作った日本共産党は、政権を担える社会民主主義政党になったのか。一貫して「革命」を目指しつつも大きく変化した 100 年の歴史を追い、国際比較と現状分析を交え同党の全貌を描く。

東京・中日新聞 2022/08/14

2022:5./ 5p,440p
978-4-12-102695-8
¥1,210〔税込〕

大丈夫な人(エクス・リブリス)

カン・ファギル 著
白水社
婚約者の彼は高収入の弁護士。質素な生活をしていた「私」を友人たちはあたかも運のいい人間のように言うけれど、実は数日前…。表題作をはじめ、他者の行動の裏に潜む悪意や、連鎖する不安を描いた全 9 作を収録した短篇集。

東京・中日新聞 2022/08/14

2022:6./ 281p
978-4-560-09073-2
¥2,200〔税込〕

人薬～精神科医と映画監督の対話～

山本 昌知／想田 和弘 著
藤原書店
精神科閉鎖病棟の「鍵」を開けた精神科医、山本昌知と、モザイクをかけない患者のありのままを撮影し、映画作品に結実させた監督、想田和弘。「人」が何よりの「薬」であることを語り合う。2021 年 3 月の対談を書籍化。

東京・中日新聞 2022/08/14

2022:5./ 271p
978-4-86578-345-2
¥2,200〔税込〕

70 歳が老化の分かれ道～若さを持続する人、一気に衰える人の違い～(詩想社新書 35)

和田秀樹 著
詩想社
「最後の活動期」をどう過ごすかで、老化は遅くなる! 30 年以上にわたり高齢者医療の現場に携わってきた著者が、要介護を遠ざけ、自立した晩年をもたらす 70 代の健康術、医療とのつき合い方などを紹介する。

東京・中日新聞 2022/08/14

2021:6./ 188p
978-4-908170-31-7
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「ナパーム弾の少女」五〇年の物語

藤 えりか 著
講談社
大火傷からの奇跡の生還、反米プロパガンダの「道具」としての生活、留学先のキューバでの結婚、西側への亡命…。ナパーム弾の爆撃直後に撮られ、ベトナム戦争の真実を世界に知らしめた「写真の少女」のその後の人生を追う。

東京・中日新聞 2022/08/21

2022:6./ 279p
978-4-06-528813-9
¥1,980〔税込〕

どこにもないテレビ～映像がみつめた復帰 50 年～

渡辺　考 著
かもがわ出版
沖縄のテレビ・ラジオは、ウチナーンチュの暮らしと文化にどのような影響をもたらしたのか。時代を動かした過去の番組の作り手や登場人物たちを取材し、沖縄の半世紀の知られざる思いや背景に迫る。

東京・中日新聞 2022/08/21

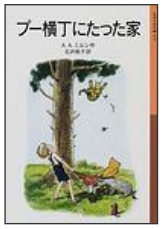
2022:6./ 197p
978-4-7803-1227-0
¥1,760〔税込〕

この国の戦争～太平洋戦争をどう読むか～(河出新書 050)

奥泉 光／加藤 陽子 著
河出書房新社
なぜ始めたのか? なぜ止められなかったのか? 戦争を知り尽くした小説家と歴史家が、必読史料や文芸作品を読み解きながら語り合い、太平洋戦争を徹底考察する。

東京・中日新聞 2022/08/28

2022:6./ 282p
978-4-309-63150-9
¥968〔税込〕



プー横丁にたった家　新版(岩波少年文庫　9)

A. A. ミルン 著
岩波書店
おなじみのクリストファー・ロビンと仲間たちが住む森へ行くと、わたしたちはいつでもすてきな魔法の冒険に出会えます。プーやコブタたちのところへ、はねっかえりのトラーが現れました。58 年刊の新版。

読売新聞 2022/08/07

2000:11./ 272p
978-4-00-114009-5
¥792〔税込〕

新編啄木歌集(岩波文庫)

石川　啄木、久保田　正文 著
岩波書店
読売新聞 2022/08/07

1993:5./ 440p
978-4-00-310541-2
¥1,045〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

二十四の瞳(岩波文庫 31-212-1)

壺井　栄 著
岩波書店
子供たちを育み守ろうとする先生と、時代の引き起こすきびしさと貧しさに翻弄されながら懸命に生きる子供たち…。瀬戸内の一寒村に赴任した若い女性教師と 12 人の生徒のふれあいを通して、戦争への怒りと悲しみを訴える名作。

読売新聞 2022/08/07

2018:5./ 282p
978-4-00-312121-4
¥770〔税込〕

後世への最大遺物・デンマルク国の話　改版(岩波文庫　青版　33-119-4)

内村　鑑三 著
岩波書店
読売新聞 2022/08/07

2011:9./ 142p
978-4-00-331194-3
¥594〔税込〕

いのちの科学の最前線～生きていることの不思議に挑む～(朝日新書　868)

チーム・パスカル 著
朝日新聞出版
「病は気から」は本当か。老化現象は不可避か。生命現象の源であるタンパク質とはいったい何モノか-。最先端の研究現場で生き物の不思議を究める 10 人の博士の驚くべき成果に迫る。

読売新聞 2022/08/07

2022:6./ 236p
978-4-02-295179-3
¥935〔税込〕

プー通りの家(角川文庫 ミ 3-2)

A.A.ミルン、森　絵都 著
KADOKAWA
百エーカーの森に、新しい仲間・ティガーがやってきた! にぎやかになった森に次々と事件が巻き起こる。そして近づくクリストファー・ロビンの旅立ち-。新訳と村上勉の絵で生まれ変わった、クマのプー完結編。

読売新聞 2022/08/07

2017:11./ 253p
978-4-04-105375-1
¥748〔税込〕

夕べの雲(講談社文芸文庫)

庄野 潤三 著
講談社
何もさえぎるものない丘の上の新しい家。主人公はまず“風よけの木”のことを考える。家の団欒を深く静かに支えようとする意志。季節季節の自然との交流を詩情豊に描く、読売文学賞受賞の名作。

読売新聞 2022/08/07

1988:4./ 325p
978-4-06-196015-2
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

人生はあるあるである(小学館よしもと新書 504)

レイザーラモン RG 著
小学館
秀でたものを備えていない普通の人間が、群雄割拠のお笑いの世界でサバイブするために身につけたのは「あるある」という武器だった-。仲間を増やし、人生をより楽しく生きられる“RG 流共感術”を公開。

読売新聞 2022/08/07

2016:10./ 189p
978-4-09-823504-9
¥858〔税込〕

手のひらの楽園(新潮文庫　み-43-4)

宮木 あや子 著
新潮社
母子家庭に育った友麻は、私立高校のエステ科に進学するため、長崎県の離島を離れた。その数日後、母は失踪。母の秘密を知り、足下がぐらりと揺れる友麻。だが厳しい現実を突きつけられても自分を信じ、友人に支えられ…。

読売新聞 2022/08/07

2022:6./ 381p
978-4-10-128575-7
¥737〔税込〕

スキップ(新潮文庫)

北村 薫 著
新潮社
読売新聞 2022/08/07

1999:6./ 571p
978-4-10-137321-8
¥935〔税込〕

ターン(新潮文庫)

北村 薫 著
新潮社
読売新聞 2022/08/07

2000:6./ 426p
978-4-10-137322-5
¥781〔税込〕

リセット(新潮文庫)

北村 薫 著
新潮社
読売新聞 2022/08/07

2003:6./ 446p
978-4-10-137328-7
¥781〔税込〕

国際政治～恐怖と希望～　改版(中公新書　108)

高坂　正堯 著
中央公論新社
戦争という人類の「不治の病」を克服するにはどうしたらよいのか。軍縮、経済交流、国際機構などを具体的に検討しながら、国家利益やイデオロギーがからみあう現実世界を分析し、組織的に論じた国際政治の入門書。

読売新聞 2022/08/07

2017:10./ 4p,233p
978-4-12-180108-1
¥836〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

法治の獣(ハヤカワ文庫 JA 1520)

春暮　康一 著
早川書房
あたかも罪と罰の概念をもつかのようにふるまう異星の草食獣シエジーたち。その衝撃的な秘密を知った研究者アリスは…。表題作はじめ、ファーストコンタクトの光と影を描いた 2 篇を加えた、地球外生命 SF 中篇集。

読売新聞 2022/08/07

2022:4./ 349p
978-4-15-031520-7
¥1,100〔税込〕

粗にして野だが卑ではない～石田礼助の生涯～(文春文庫)

城山 三郎 著
文芸春秋
三井物産に 35 年在職し、78 歳で財界から初めて国鉄総裁になった“ヤング・ソルジャー”。明治の硬骨漢の堂々たる人生を描く。

読売新聞 2022/08/07

1992:6./ 254p
978-4-16-713918-6
¥660〔税込〕

隠し剣孤影抄(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋
秘剣、外に語らず—藤沢周平が剣客小説に新境地を開いた名品集“隠し剣"シリーズ。凶々しいばかりに研ぎ澄まされた剣技を秘める主人公たちは、また人としての弱さもあわせ持つ。 剣鬼と化し破牢した夫のため捨て身の行動に出る人妻、これに翻弄される男を描く「隠し剣鬼ノ爪」。他に「邪剣竜尾返し」「臆病剣松風」「暗殺剣虎ノ眼」「必死剣鳥刺し」「女人剣さざ波」「悲運剣芦刈り」「宿命剣鬼走り」の全 8 篇を収録。 姉妹篇『隠し剣秋風抄』とあわせて全 17 篇。全体で「海坂城下異聞」となっている。解説・阿部達二

読売新聞 2022/08/07

2004:6./ 409p
978-4-16-719238-9
¥814〔税込〕

隠し剣秋風抄(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋
酒乱剣、女難剣、好色剣など剣士の技はいよいよ多彩になり、女達との官能的描写と共に息もつかせぬ展開に。「孤影抄」の姉妹篇

読売新聞 2022/08/07

2004:6./ 384p
978-4-16-719239-6
¥814〔税込〕

ニッポン 47 都道府県正直観光案内(幻冬舎文庫 み-10-11)

宮田 珠己 著
幻冬舎
スペクタクルな富山県、果てしなく遠い和歌山県、何かとやりすぎな徳島県、青森県は SF の世界…。知名度や評判に惑わされず、本気で「イイ!」と思った観光スポットのみを厳選して紹介する、47 都道府県観光案内。

読売新聞 2022/08/07

2022:7./ 341p
978-4-344-43212-3
¥825〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

禅と出会う

横田 南嶺 著

春秋社

禅とはどのようなものか。それは何を求め、どこに至ろうとするのか。厳しい修行とは。禅問答とは…。釈迦や臨済禅師、鈴木大拙、相田みつをらの言葉を引用しながら禅の心を伝える入門書。花園大学での講義をもとに書籍化。

読売新聞 2022/08/07

2022:4./ 11p,232p
978-4-393-13456-6
¥1,870〔税込〕

人生に詰んだ元アイドルは、赤の他人のおっさんと住む選択をした(祥伝社文庫 お 27-1)

大木亜希子 著

祥伝社

元アイドルのアラサー女子。夜は男性との「ノルマ飯」、仕事もタフにこなしているつもりが、ある日突然、駅のホームで足が動かなくなった。そして、赤の他人のおっさんと暮らすことに…。恋愛や将来の不安を綴った女子物語。

読売新聞 2022/08/07

2022:6./ 223p
978-4-396-34813-7
¥792〔税込〕

空飛ぶ馬(創元推理文庫)

北村 薫 著

東京創元社

読売新聞 2022/08/07

1994:4./ 357p
978-4-488-41301-9
¥792〔税込〕

フローラ逍遥(平凡社ライブラリー)

渋沢 竜彦 著

平凡社

水仙・椿・薔薇・コスモス…「竜彦の国＝ドラコニア」に咲く２５の花々を描いた、生涯の最期を飾る優美にして閑雅な博物誌。東西の植物画７５点をオールカラー図版で収録する。花々の匂う渋沢家の庭へ。再刊。

読売新聞 2022/08/07

1996:10./ 232p
978-4-582-76166-5
¥1,601〔税込〕

水中の哲学者たち

永井玲衣 著

晶文社

「もっと普遍的で、美しくて、圧倒的な何か」を追いかけ、海の中での潜水のごとく、ひとつのテーマを深く考える哲学対話。哲学のおもしろさ、不思議さを伝えるエッセイ。『晶文社スクラップブック』掲載等を書籍化。

読売新聞 2022/08/07

2021:9./ 265p
978-4-7949-7274-3
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

キリン解剖記

郡司　芽久 著
ナツメ社
キリンが亡くなりました-。クリスマスも正月も、訃報で予定をキャンセルし…。これまでに30頭のキリンを解剖し、「8番目の“首の骨”」を見つけた著者が、キリンとの出会い、探求、発見の日々を綴る。

読売新聞 2022/08/07

2019:7./ 215p
978-4-8163-6679-6
¥1,320〔税込〕

地球～その中をさぐろう～(福音館のかがくのほん)

加古里子 著
福音館書店
地球の中のようすを地表から中心部にわたって描いた、「海」の姉妹作です。地球内部の巨大なエネルギーが地球を変えていく過程は実に見事で、その雄大さは目を見はるものがあります。

読売新聞 2022/08/07

1975:1./ 49,5p
978-4-8340-0445-8
¥1,650〔税込〕

読み下し日本三代実録<上巻>　清和天皇

藤原　時平、武田　祐吉、佐藤　謙三 著
戎光祥出版
昭和１０～１６年にかけて刊行された「国文六国史　三代実録」（上巻・中巻・下巻）を２分冊で復刻。清和天皇より陽成天皇、光孝天皇に至る御三代３０年間の記録。上巻は、清和天皇を収載。

読売新聞 2022/08/07

2009:9./ 716p
978-4-86403-001-4
¥5,060〔税込〕

読み下し日本三代実録<下巻>　陽成天皇　光孝天皇

藤原　時平、武田　祐吉、佐藤　謙三 著
戎光祥出版
昭和１０～１６年にかけて刊行された「国文六国史　三代実録」（上巻・中巻・下巻）を２分冊で復刻。清和天皇より陽成天皇、光孝天皇に至る御三代３０年間の記録。下巻は、陽成天皇、光孝天皇を収載。

読売新聞 2022/08/07

2009:9./ 469p
978-4-86403-002-1
¥3,740〔税込〕

大絶滅～遺伝子が悪いのか運が悪いのか？～

デイヴィッド・Ｍ・ラウプ、渡辺　政隆 著
平河出版社
生命誕生から３５億年。進化した５００億種の生物のうち現在生息するのは約４０００万種。９９．９％の生物種が絶滅。進化史において生死を決定したのは必然か偶然か。古生物学界の異才がコンピュータを駆使してその謎に迫る。

読売新聞 2022/08/07

1996:4./ 253p
978-4-89203-265-3
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ヨクネルとひな

LEE、酒井　駒子 著
ブロンズ新社
ひなちゃんのおうちに、ちっぽけなこねこがやってきました。のらねこのお母さんから預かったのです。ひなちゃんが抱いてみると、軽くて、やわらかで、ちいさいのにちゃんと生きていて…。

読売新聞 2022/08/07

2015:11./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-89309-611-1
¥1,650〔税込〕

おふみさんに続け!女性哲学者のフロンティア～西田幾多郎の姪高橋ふみの生涯と思想～

浅見　洋 著
ポラーノ出版
西田幾多郎を伯父にもち、東京女子大学の卒業生として最初の女性帝国大学生となった高橋ふみ。哲学研究者を志望し、男性中心の学界の中で生きていくために新しい女性の道を切り拓こうとしたふみの人生と思想を紹介する。

読売新聞 2022/08/07

2017:3./ 219p
978-4-908765-08-7
¥2,200〔税込〕

昭和天皇拝謁記～初代宮内庁長官田島道治の記録～<1> 拝謁記

田島 道治／古川 隆久／茶谷 誠一／冨永 望／瀬畑 源／河西 秀哉／舟橋 正真／NHK 著
岩波書店
昭和天皇の生々しい肉声が明かされる-。連合国軍による占領から独立回復に至るまで、初代宮内庁長官田島道治によって書きとめられた、現代史の第一級史料。1 は、昭和 24 年 2 月～25 年 9 月の拝謁記を収録。

読売新聞 2022/08/14

2021:12./ 19p,281p
978-4-00-026591-1
¥3,300〔税込〕

昭和天皇拝謁記～初代宮内庁長官田島道治の記録～<2> 拝謁記

田島 道治／古川 隆久／茶谷 誠一／冨永 望／瀬畑 源／河西 秀哉／舟橋 正真／NHK 著
岩波書店
昭和天皇の生々しい肉声が明かされる-。連合国軍による占領から独立回復に至るまで、初代宮内庁長官田島道治によって書きとめられた、現代史の第一級史料。2 は、昭和 25 年 10 月～26 年 10 月の拝謁記を収録。

読売新聞 2022/08/14

2022:2./ 9p,291p
978-4-00-026592-8
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

昭和天皇拝謁記～初代宮内庁長官田島道治の記録～<3> 拝謁記

2022:4./ 9p,303p
978-4-00-026593-5
¥3,300〔税込〕

田島 道治／古川 隆久／茶谷 誠一／冨永 望／瀬畑 源／河西 秀哉／舟橋 正真／NHK 著
岩波書店
昭和天皇の生々しい肉声が明かされる-。連合国軍による占領から独立回復に至るまで、初代宮内庁長官田島道治によって書きとめられた、現代史の第一級史料。3 は、昭和 26 年 11 月～27 年 6 月の拝謁記を収録。

読売新聞 2022/08/14

昭和天皇拝謁記～初代宮内庁長官田島道治の記録～<4> 拝謁記

2022:6./ 9p,297p
978-4-00-026594-2
¥3,300〔税込〕

瀬畑 源／河西 秀哉／舟橋 正真／NHK／田島 道治／古川 隆久／茶谷 誠一／冨永 望 著
岩波書店
昭和天皇の生々しい肉声が明かされる-。連合国軍による占領から独立回復に至るまで、初代宮内庁長官田島道治によって書きとめられた、現代史の第一級史料。4 は、昭和 27 年 7 月～28 年 4 月の拝謁記を収録。

読売新聞 2022/08/14

吾輩は猫である　改版(岩波文庫)

1990:4./ 563p
978-4-00-310101-8
¥770〔税込〕

夏目　漱石／斉藤　恵子 著
岩波書店
猫を語り手として苦沙弥・迷亭ら太平の逸民たちに滑稽と諷刺を存分に演じさせ語らせたこの小説は『坊っちゃん』とあい通ずる特徴をもっている．それは溢れるような言語の湧出と歯切れのいい文体である．この豊かな小説言語の水脈を発見することで英文学者・漱石は小説家漱石となった．

読売新聞 2022/08/14

ナポレオン言行録(岩波文庫　青 435-1)

1983:9./ 286p
978-4-00-334351-7
¥924〔税込〕

オブリ，O.（オクターヴ） 編
岩波書店
かならずしも長くはない一生にナポレオン(1769-1821)はおびただしい量の手紙・布告・戦報・語録などを書き、あるいは口授した。本書はそのうちから最も意味深く最も興味深い文章を選んで年代順に配列したものであって、不世出の英雄の波瀾にとむ生涯が、かれ自身の筆とことばによって生々しく記録されている。

読売新聞 2022/08/14

文学部唯野教授(岩波現代文庫)

2000:1./ 373p
978-4-00-602001-9
¥1,320〔税込〕

筒井　康隆 著
岩波書店
超話題騒然，抱腹絶倒の大学学問小説!

読売新聞 2022/08/14

狡智の文化史～人はなぜ騙すのか～(岩波現代文庫　文芸 344)

山本 幸司 著
岩波書店
嘘、偽り、詐欺、謀略…。秩序や倫理をもって排除しようとしても、決して人間世界から排除しきれない「狡智」という知のあり方。古今東西の史実や物語を素材に、狡智の深層と人間の本性との関わりについて考える。

読売新聞 2022/08/14

2022:6./ 7p,284p
978-4-00-602344-7
¥1,232〔税込〕

営繕かるかや怪異譚(角川文庫　お 72-2)

小野　不由美 著
KADOKAWA
雨の日に鈴の音が鳴れば、それは怪異の始まり。袋小路に佇む喪服姿の女を、決して家の中に入れてはいけない。「雨の鈴」など、住居にまつわる怪異を営繕屋・尾端が鮮やかに修繕する全 6 篇を収録。宮部みゆきの解説付き。

読売新聞 2022/08/14

2018:6./ 279p
978-4-04-106047-6
¥660〔税込〕

最後の鑑定人

岩井　圭也 著
KADOKAWA
元科捜研の異端児・土門誠は民間の鑑定所を開設する。ある日、殺人事件の被告人を調べた DNA 鑑定が持ち込まれる。客観的な情報から土門は衝撃的な仮説を導き出し…。『小説野性時代』に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2022/08/14

2022:7./ 277p
978-4-04-111167-3
¥1,870〔税込〕

四畳半タイムマシンブルース(角川文庫　も 19-5)

森見　登美彦 著
KADOKAWA
気ままな連中が“昨日”を改変。世界の存続と、「私」のひそかな恋の行方は!? 森見登美彦の小説「四畳半神話大系」と、上田誠の舞台「サマータイムマシン・ブルース」のコラボレーション作品。

読売新聞 2022/08/14

2022:6./ 243p
978-4-04-111986-0
¥704〔税込〕

姑獲鳥（うぶめ）の夏<上>(講談社文庫)

京極 夏彦 著
講談社
読売新聞 2022/08/14

2005:4./ 297p
978-4-06-275045-5
¥586〔税込〕

姑獲鳥（うぶめ）の夏<下>(講談社文庫)

京極 夏彦 著
講談社
読売新聞 2022/08/14

2005:4./ 339p
978-4-06-275046-2
¥628〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

石の来歴・浪漫的な行軍の記録(講談社文芸文庫)

奥泉 光 著
講談社
石に異常な執着を示す男の人生。長男の死、妻の狂気、次男の学生運動、夢と現実の交錯のなかで描かれる奥泉光の芥川賞受賞作ほか。

読売新聞 2022/08/14

2009:12./ 364p
978-4-06-290070-6
¥1,760〔税込〕

復活への底力～運命を受け入れ、前向きに生きる～(講談社現代新書　2666)

出口 治明 著
講談社
脳卒中を発症し、右手右足が動かず、ほとんど話すこともできない状態から 1 年半、APU 学長へ復帰した著者が、復職を目指した背景や、復職までの道のりとその間に気付いたこと、新たに見えてきたことを綴る。

読売新聞 2022/08/14

2022:7./ 213p
978-4-06-523950-6
¥990〔税込〕

瓢箪から人生

夏井 いつき 著
小学館
師匠となる黒田杏子との出会いや父親の思い出、夢枕獏との意外な交流…。夏井いつきが、これまでの人生で出会った忘れ得ぬ人たちを綴った全 45 編のエッセイ。『女性セブン』連載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2022/08/14

2022:8./ 335p
978-4-09-388866-0
¥1,485〔税込〕

神器～軍艦「橿原」殺人事件～<上>(新潮文庫　お-49-2)

奥泉　光 著
新潮社
読売新聞 2022/08/14

2011:7./ 526p
978-4-10-128422-4
¥733〔税込〕

神器～軍艦「橿原」殺人事件～<下>(新潮文庫　お-49-3)

奥泉　光 著
新潮社
読売新聞 2022/08/14

2011:7./ 530p
978-4-10-128423-1
¥775〔税込〕

ゆるキャラの恐怖(文春文庫　桑潟幸一准教授のスタイリッシュな生活 お 23-5 3)

奥泉 光 著
文藝春秋
下流大学教師・クワコーは、学生集めが最優先の大学から「ゆるキャラコンテスト」に着ぐるみで出場することを命じられる。さらに「おそろしき事がおこるぞよ」との脅迫状が届き…。脱力系ミステリー。

読売新聞 2022/08/14

2021:11./ 300p
978-4-16-791784-5
¥891〔税込〕

海がきこえる 新装版(徳間文庫　トクマの特選! ひ 15-3)

氷室冴子 著
徳間書店
大学進学で高知から上京した拓は、高校時代の転校生・里伽子が東京に戻った事を知る。気まぐれな美少女に翻弄されながら、その孤独に耳を澄ました短い日々を回想する拓に、再会の機会が訪れ…。近藤勝也のカラーイラスト付き。

読売新聞 2022/08/14

2022:7./ 323p
978-4-19-894759-0
¥880〔税込〕

子どもたちの未来を創ったプログラミング教育～日本最初のプログラミング教育を受けた小学生たちは一世代後にどう育ったか、プログラミングが育てた思考・創造力～

戸塚 滝登 著
技術評論社
1970 年代末より、小学校でプログラミング教育を実践し始めた著者が、子どもたちがどのようにプログラミングの授業を受け、その後どのように育ったのか、また、どのような職業についたのかを追跡調査した内容をまとめる。

読売新聞 2022/08/14

2022:6./ 335p
978-4-297-12882-1
¥1,980〔税込〕

ガルシア=マルケス中短篇傑作選(河出文庫　マ 11-1)

ガブリエル・ガルシア＝マルケス 著
河出書房新社
世界文学の最高峰が生みだした永遠の傑作たち。「大佐に手紙は来ない」「純真なエレンディラと邪悪な祖母の信じがたくも痛ましい物語」など、多面的な魅力を凝縮した新訳アンソロジー。

読売新聞 2022/08/14

2022:7./ 322p
978-4-309-46754-2
¥1,320〔税込〕

てんまる～日本語に革命をもたらした句読点～(PHP 新書　1305)

山口 謠司 著
ＰＨＰ研究所
句読点の目的は、コミュニケーションの大基本「正しく伝えるため」である。しかし日本語にはかつて句読点はなかった。いったい、いつ、どこからやってきたのか。過去から現代日本語までの句読点の歴史について詳しく記す。

読売新聞 2022/08/14

2022:4./ 238p
978-4-569-85182-2
¥1,056〔税込〕

皮膚、人間のすべてを語る～万能の臓器と巡る 10 章～

モンティ・ライマン 著
みすず書房
人間の皮膚で幸せに暮らすダニやマイクロバイオーム、皮膚に刻んだタトゥーの意味…。科学や医学から、社会学、心理学、歴史までを含む広大な皮膚の世界を巡り、皮膚の本質に迫る。2019 年英国王立協会科学図書賞候補作品。

読売新聞 2022/08/14

2022:5./ 1p,270p,34p
978-4-622-09092-2
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

トライアスロンの哲学～鉄人たちの考えごと～

ラファエル・ヴェルシェール 著
ナカニシヤ出版
人はどうしてこんな苦しい競技に挑むのだろう? 自らも競技者である哲学教師が、「鉄人レース」の本質を、哲学・心理学・社会学など多角的な視点から解き明かす。

読売新聞 2022/08/14

2022:5./ 7p,270p
978-4-7795-1641-2
¥2,750〔税込〕

地図で読み解く関西のことば

岸江信介／中井精一 編
昭和堂
可視的かつ多角的観点から関西のことばをわかりやすく解説。「近畿言語地図」をもとに近畿地方における関西弁のより細かな地域差を示し、言語地図から見えてくる関西弁の姿を伝える。

読売新聞 2022/08/14

2022:4./ 6p,281p
978-4-8122-2116-7
¥2,420〔税込〕

NO SIGNAL～街を出て、大自然の中で暮らすことを選んだ 10 人の生き方～

ナショナル ジオグラフィック 編
ブリス・ポルトラーノ 著
日経ナショナルジオグラフィック社
ノルウェーの無人島の灯台守として暮らす、イランで古のペルシャ騎士の生活を守る…。それまでの生活を捨て、自然のなかで暮らすために、人生を大きく変える選択をした 10 人の素晴らしい日々を、写真とともに紹介する。

読売新聞 2022/08/14

2022:6./ 277p
978-4-86313-539-0
¥2,420〔税込〕

亜鉛の少年たち～アフガン帰還兵の証言～　増補版

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店
「国際友好の義務を果たす」という政府の方針でアフガニスタンへ送り出されたソ連の若者たちは、亜鉛の棺に納められて帰国し、生きて戻った者も鉛のような心を抱えて苦しんでいた…。帰還兵、戦没者の家族らの肉声を綴る。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 7p,434p
978-4-00-061303-3
¥3,520〔税込〕

アフガニスタン・ペーパーズ～隠蔽された真実、欺かれた勝利～

クレイグ・ウィットロック 著
岩波書店
数週間で終わるはずだった作戦は、なぜアメリカ史上最長の戦争となったのか。膨大な資料が克明に語るアメリカの無知と傲慢、組織的な情報の改ざん、そして失敗の本質とは…。アフガニスタン戦争の真実を暴き出す。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 22p,368p,9p
978-4-00-061543-3
¥3,960〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ふんどしニッポン～下着をめぐる魂の風俗史～(朝日新書　864)

井上章一 著
朝日新聞出版
三島由紀夫にとっての正装であり、特殊な精神性をまとう和の下着、ふんどし。ふんどしがパンツにとってかわられるまでの歴史を追い、日本人の精神史を内側から紐解く。ふんどし姿の人たちの写真など 150 余点を掲載。

読売新聞 2022/08/21

2022:5./ 326p
978-4-02-295159-5
¥979〔税込〕

ホスト万葉集～文庫スペシャル～(講談社文庫 て 17-1)

俵 万智／野口 あや子／小佐野 彈 編
手塚マキと歌舞伎町ホスト８０人ｆｒｏｍ Ｓｍａｐｐａ！Ｇｒｏｕｐ 著
講談社
最終日 LINE 開いて文字打てず知りすぎた君にもう頼めない コロナかもだから会わない好きだからコロナ時代の愛なんてクソ 歌舞伎町を生きるホストたちが本当の心を綴った短歌集。単行本 2 冊から 232 首を厳選収録。

読売新聞 2022/08/21

2022:7./ 229p
978-4-06-528266-3
¥770〔税込〕

ウェブ小説 30 年史～日本の文芸の「半分」～(星海社新書 223)

飯田 一史 著
星海社
日本の文芸市場の半分を占めるまでに成長したウェブ小説。ウェブ小説の書籍化の歴史を、ネットビジネス史と出版産業史的な視点から紐解く。Web サイト『monokaki』連載を改稿し、加筆修正。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 550p
978-4-06-528404-9
¥1,980〔税込〕

美しき愚かものたちのタブロー(文春文庫　は 40-6)

原田 マハ 著
文藝春秋
モネ、ルノワール、ゴッホ…。日本の若者に本物を見せたい。その一心で絵画を買い漁った男がいた-。アートに魅せられ、不可能を可能にした 4 人の男たちと、国立西洋美術館の礎“松方コレクション”の軌跡を描く。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 483p
978-4-16-791887-3
¥891〔税込〕

創造性をデザインする～建築空間の社会学～

牧野　智和 著
勁草書房
学校、オフィス、公共空間などはどのように設計され、人々のふるまいや心理にどのような影響を与えようとするものなのか。人々の創造性を誘発しようとする現代的建築空間を社会学の観点から分析する。

読売新聞 2022/08/21

2022:5./ 7p,315p,30p
978-4-326-65434-5
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

中央分水嶺を旅する～日本列島の背骨～(モン・ブックス)

栗田 貞多男 著
世界文化社
北海道・宗谷岬から九州・佐多岬まで日本列島の脊梁を貫き、雨水の行方を太平洋と日本海に分ける大自然の境界線、中央分水嶺。その山々をカラー写真で紹介。周辺の名山と日本アルプスも収録する。田部井淳子のエッセイも掲載。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 255p
978-4-418-22213-1
¥1,760〔税込〕

ミス・マープル最初の事件～牧師館の殺人～(創元推理文庫 M ク 2-16)

アガサ・クリスティ 著
東京創元社
牧師館で治安判事が殺害された。難航する警察の捜査をよそに、牧師館の隣人のおしゃべりで穿鑿好きの老婦人が事件を解決に導く-。クリスティの 2 大探偵のひとりミス・マープル初登場長編作。名作ミステリ新訳プロジェクト。

読売新聞 2022/08/21

2022:7./ 396p
978-4-488-10550-1
¥990〔税込〕

山猫画句帖

山本 容子 著
文化学園文化出版局
つめたい朝のまつしろい紙に画く 漂白のかをりただよふ夏の駅 雪女郎根性魂は赤き手に 『読売新聞』連載の銅版画に、10 年にわたって書き溜めた俳句を合載して書籍化。小林恭二による句の解説も収録。

読売新聞 2022/08/21

2022:7./ 95p
978-4-579-50194-6
¥2,200〔税込〕

ひこうき雲(キム・エランの本 1)

キム・エラン 著
亜紀書房
逃げるように上京したヨンデは、親切なミョンファと出会うが、彼女はがんを患い…。タクシー運転手ヨンデの物語「かの地に夜、ここに歌」などを収録。韓国社会の片隅で必死に生きる声なき人々を描いた小説集。

読売新聞 2022/08/21

2022:7./ 315p
978-4-7505-1747-6
¥2,090〔税込〕

集団浅慮～政策決定と大失敗の心理学的研究～

アーヴィング・ジャニス 著
新曜社
聡明な人々が議論を重ねたのに、大失敗となってしまったアメリカの歴史的に重大な政策決定の事例を取り上げ、議論の過程を詳細に検証。そこにはたらく集団決定だからこその心理学的過程を明らかにする。

読売新聞 2022/08/21

2022:5./
17p,549p,28p
978-4-7885-1770-7
¥4,730〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

トヨタ「家元組織」革命～世界が学ぶ永続企業の「思想・技・所作」～

阿部修平 著
プレジデント社
逆風でも最高益。「トヨタ一強の秘密」は、日本の伝統的組織づくりにあった! 世界一の自動車会社であるトヨタ自動車の社長、豊田章男の経営とリーダーシップについて検証を試みる。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 295p
978-4-8334-4130-8
¥2,530〔税込〕

ユートピア文学論 増補改訂版(徹夜の塊 2)

沼野充義 著
作品社
陶酔と恐怖の狭間を揺れ動きながらも紡ぎ続けられるユートピア的想像力-。「いま・ここ」にないものを求め描いてきたロシア・東欧文学の文学的想像力の本質に鋭く迫る、ユートピア論。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 490p,19p
978-4-86182-800-3
¥5,280〔税込〕

若者たちの BC 級戦犯裁判～さまよう責任と埋もれた無念～

野見山 剛 著
ｄＺＥＲＯ
戦争犯罪で死刑となった 20 代、30 代の元日本兵たちは一体、何をしたのか? 膨大な裁判記録から、不毛な戦争と命令によって未来を破壊された若者の姿を明らかにする。

読売新聞 2022/08/21

2022:6./ 285p
978-4-907623-52-4
¥2,530〔税込〕

しゃばけ(新潮文庫)

畠中 恵 著
新潮社
読売新聞 2022/08/21、読売新聞 2022/08/28

2004:3./ 342p
978-4-10-146121-2
¥693〔税込〕

ピリカチカッポ～知里幸恵と『アイヌ神謡集』～

石村 博子 著
岩波書店
「アイヌ神謡集」を残し 19 年余の生涯を閉じたアイヌの少女、知里幸恵。一度は忘れ去られた少女は、なぜ甦ったのか。資料をもとに、アイヌに生まれ、アイヌ語の中に生いたった少女の魂の格闘を描く。

読売新聞 2022/08/28

2022:4./ 10p,236p
978-4-00-024546-3
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

いま、この惑星で起きていること～気象予報士の眼に映る世界～(岩波ジュニア新書 954)

森 さやか 著
岩波書店
自然界に多大な影響・変化を及ぼし、人々の日常生活をも脅かす異常気象。気象予報士が、世界で起きている気象について、温暖化の問題を中心にわかりやすく解説し、今後の課題と解決策を考察する。『世界』連載にコラムを追加。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 10p,180p
978-4-00-500954-1
¥902〔税込〕

霧が晴れた時～自選恐怖小説集～(角川ホラ－文庫)

小松　左京 著
角川書店
太平洋戦争末期、少年が屋敷で見た恐怖の真相とは!?　名作中の名作「くだんのはは」をはじめ、日本恐怖小説界に今なお絶大なる影響を与えつづける、ホラー短編の金字塔。

読売新聞 2022/08/28

1993:7./ 419p
978-4-04-130863-9
¥792〔税込〕

後巷説百物語(角川文庫)

京極　夏彦 著
角川書店
文明開化の音がする明治十年。一等巡査の矢作らは、ある伝説の真偽を確かめるべく隠居老人・一白翁を訪ねた。翁は静かに、今は亡き者どもの話を語り始める。第１３０回直木賞受賞作。妖怪時代小説の金字塔！

読売新聞 2022/08/28

2007:4./ 787p
978-4-04-362004-3
¥1,012〔税込〕

豆腐小僧双六道中ふりだし(角川文庫)

京極　夏彦 著
角川書店
豆腐を載せた盆を持ち、ただ立ちつくすだけの妖怪「豆腐小僧」。豆腐を落としたとき、ただの小僧になるのか、はたまた消えてしまうのか。「消えたくない」――強い思いを胸に旅に出た小僧が出会ったのは!?

読売新聞 2022/08/28

2010:10./ 710p
978-4-04-362008-1
¥1,100〔税込〕

雨月物語(角川ソフィア文庫 A4-4)

佐藤　至子 編
上田　秋成 著
KADOKAWA
あの世とこの世、人間と人間でないものが交錯する、美しくも恐ろしい物語-。怪異小説「雨月物語」を初めて読む人のために、9 つの物語のすべてについて、あらすじを示しながら、原文の一部を現代語訳とともに紹介する。

読売新聞 2022/08/28

2017:12./ 204p
978-4-04-400211-4
¥792〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

将棋の子(講談社文庫)

大崎 善生 著
講談社
将棋のプロ棋士を目指して戦い続ける少年たち。だが、そのほとんどが昇段規定をクリアーできない冷徹な現実を前に夢半ばで挫折する。

読売新聞 2022/08/28

2003:5./ 352p
978-4-06-273738-8
¥770〔税込〕

妖怪アパートの幽雅な日常<１>(講談社文庫)

香月 日輪 著
講談社
俺が入居したアパートは、物の怪たちの巣窟だった！　共同浴場は地下洞窟にこんこんと湧く温泉、とてつもなくうまいご飯を作ってくれる「手首だけの」賄いさん——13 歳で両親を失った俺が高校進学と同時に入居したのは人呼んで“妖怪アパート”! 次々と目の当たりにする非日常を前に、俺の今までの常識と知識は砕け散る。大人気シリーズ、待望の文庫化！

読売新聞 2022/08/28

2008:10./ 239p
978-4-06-276169-7
¥539〔税込〕

新しい声を聞くぼくたち

河野 真太郎 著
講談社
変わっていく世界と、ぼくたちのいらだち。与えられた剣と鎧はどうやって手放したらいい? 近年のフェミニズムの興隆の中で男性はどう生きるべきかを、映画や漫画など様々なコンテンツから読み解く。

読売新聞 2022/08/28

2022:5./ 347p
978-4-06-527742-3
¥1,980〔税込〕

檀流スローライフ・クッキング

檀 晴子 著
集英社
東京生まれ、東京育ちの著者が、65 歳で博多湾に浮かぶ離島に移住。予期せぬ事件にぶつかりながらも、笑顔でキッチンに立ち…。羊のカレー、ボルシチ、白菜キムチなど季節のレシピとともに綴る移住ストーリー。

読売新聞 2022/08/28

2022:6./ 204p
978-4-08-790066-8
¥1,870〔税込〕

宙ごはん

町田 そのこ 著
小学館
育ての母と産みの母。ふたりの母親に育てられた宙は、産みの母親と暮らすことになるが…。ごはんを作って食べることを通して成長していく姿を描く。『WEB きらら』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2022/08/28

2022:6./ 365p
978-4-09-386645-3
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本で見られる現代アート傑作 11(小学館文庫 あ 50-1)

秋元 雄史 著

小学館

日本で見られるトップレベルの現代アート 11 作品を徹底紹介。現代アートの第一人者が、作品の魅力と制作背景、鑑賞のコツ、作家エピソードを詳細に解説する。各施設の情報やアクセス案内も充実。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 247p
978-4-09-407165-8
¥682〔税込〕

家守綺譚(新潮文庫)

梨木 香歩 著

新潮社

読売新聞 2022/08/28

2006:9./ 205p
978-4-10-125337-4
¥539〔税込〕

神の悪手

芦沢 央 著

新潮社

追い詰められた男が将棋人生を賭けたアリバイ作りに挑む表題作をはじめ、運命に翻弄されながらも前に進もうとする人々の葛藤を昇華させた将棋ミステリ短編集。『小説新潮』掲載、『週刊新潮』連載を加筆し単行本化。

読売新聞 2022/08/28

2021:5./ 212p
978-4-10-350083-4
¥1,760〔税込〕

なんでも見つかる夜に、こころだけが見つからない

東畑 開人 著

新潮社

誰とでもつながれる時代なのに、どうしようもなく「ひとりぼっち」だと感じるのはなぜ? 自分のこころがわからなくなるのはどうして? 臨床心理士が読者との<夜の航海>を通じて描く、新感覚の「読むセラピー」。

読売新聞 2022/08/28

2022:3./ 281p
978-4-10-354491-3
¥1,760〔税込〕

雨上がり月霞む夜(中公文庫 さ 84-1)

西條 奈加 著

中央公論新社

がさつだが情に篤い秋成と、死者や妖しと交流する力を持つ雨月。幼馴染のふたりは人間の言葉を話す兎との出会いをきっかけに、様々な変事に巻き込まれ…。江戸怪奇譚の傑作「雨月物語」をモチーフに綴る、幻想的な連作短編集。

読売新聞 2022/08/28

2021:11./ 371p
978-4-12-207138-4
¥792〔税込〕

知里幸恵　『アイヌ神謡集』　2022 年 9 月(１００分　ｄｅ　名著)

中川 裕 著
ＮＨＫ出版
自然と共生する人びとが伝承してきた神の物語　アイヌが長年謡い継いできた物語を、アイヌ自身がアイヌ語で書いた初めての本。編纂したアイヌの少女・知里幸恵は完成直前に夭逝してしまうが、美しい日本語対訳とともに収録された 13 編の神謡は、アイヌの豊かな世界観を私たちに伝えてくれる。アイヌはいかに自然と共生してきたのか？　文字を持たない人々の暮らしとは？　あらゆる存在に霊魂を見出し、カムイ（神）と支え合って生きていく物語を通して、アイヌの文化やを味わいつくす最良のガイド！　大人気漫画『ゴールデンカムイ』の監修者がやさしく案内する。

読売新聞 2022/08/28

2022:8./ 116p
978-4-14-223143-0
¥599〔税込〕

その丘が黄金ならば

Ｃ・パム・ジャン 著
早川書房
ゴールドラッシュ後のアメリカ。中国系移民の 11 歳のサムと 12 歳のルーシーは、父が亡くなっていることに気づき、父の亡骸を葬る旅に出る。ふたりで始めたはずの旅はやがて、それぞれの居場所を問うものへと変わっていき…。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 381p
978-4-15-210151-8
¥2,970〔税込〕

ジョン・フォード論

蓮實 重彦 著
文藝春秋
映画作家ジョン・フォードを「古典的な西部劇の巨匠」というレッテルから解き放ち、画面そのものを見つめる快楽へとひたすら誘う、蓮實映画批評の金字塔。貴重なスチール写真も多数収録する。『文學界』掲載を大幅に修正。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 423p
978-4-16-391574-6
¥3,410〔税込〕

馬鹿みたいな話!～昭和 36 年のミステリ～

辻 真先 著
東京創元社
昭和 36 年。テレビドラマの生放送中に、主演女優が殺害された。脚本を手がけた駆け出しミステリ作家の風早は、謎解きに挑み…。「たかが殺人じゃないか」に続く“昭和ミステリ”シリーズ第 3 弾。

読売新聞 2022/08/28

2022:5./ 391p
978-4-488-02871-8
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

あの本は読まれているか(創元推理文庫 M フ 39-1)

ラーラ・プレスコット 著
東京創元社
反体制とみなされ、共産圏で禁書となっている小説「ドクトル・ジバゴ」をソ連国民の手に渡し、迫害を行っているソ連の現状を知らしめる。冷戦下、一冊の小説を武器とし、危険な任務に挑む女性たちを描くエンターテインメント。

読売新聞 2022/08/28

2022:8./ 522p
978-4-488-27007-0
¥1,320〔税込〕

稀書探訪

鹿島　茂 著
平凡社
19 世紀ロマン主義時代のイラストレーターによる挿絵本、地誌・風俗画、風刺画の入った新聞、モードのグラフィック資料…。近代ヨーロッパの稀少な書籍や資料の魅力を紹介する。ANA の機内誌『翼の王国』連載を書籍化。

読売新聞 2022/08/28

2022:5./ 331p
978-4-582-83899-2
¥4,400〔税込〕

純喫茶パオーン(ハルキ文庫 や 17-2)

椰月 美智子 著
角川春樹事務所
創業約 50 年の「純喫茶パオーン」。その店主の孫である「ぼく」が、小学 5 年・中学 1 年・大学 1 年の頃にそれぞれ出会った不思議な事件と温かな日々を描く。どこかとぼけて愛らしい全 3 編を収録。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 220p
978-4-7584-4504-7
¥704〔税込〕

「ゴキブリ嫌い」だったけどゴキブリ研究はじめました

柳澤静磨 著
イースト・プレス
飼育にゾクゾク、解剖にクタクタ。それでも“G”と生きる理由とは? ゴキブリ嫌いだった著者がゴキブリ研究を始め、35 年ぶりに日本産ゴキブリの新種を発見するまでの道のりを紹介するとともに、ゴキブリの真の姿に迫る。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 191p
978-4-7816-2095-4
¥1,650〔税込〕

すみ鬼にげた(福音館創作童話シリーズ)

岩城範枝 著
福音館書店
大工見習いの少年ヤスは、奈良の唐招提寺で仕事を手伝っていた。ある時、誰かが泣いているような声を聞いたヤスが、その声のする屋根の方へのぼってみると、そこには一尺ばかりの小さな鬼が座っていて…。

読売新聞 2022/08/28

2009:11./ 79p
978-4-8340-2471-5
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

死にゆくあなたへ～緩和ケア医が教える生き方・死に方・看取り方～

アナ・アランチス 著
飛鳥新社
共感しないで同情する、自然死することをゆるす…。老年医学を専門とし、「死にゆく人」と接しながら緩和ケア医療に取り組むブラジルの女性医師が、いい人生だったと思えるような生き方・死に方・看取り方について綴る。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 202p
978-4-86410-916-1
¥1,650〔税込〕

日本居酒屋遺産<東日本編>

太田和彦 著
トゥーヴァージンズ
創業が古く昔のままの建物、代々変わらずに続けている居酒屋、庶民の店を守っている老舗-。独酌三四郎(旭川市)、鍵屋(台東区)、シンスケ(文京区)など、次世代に残すべき東日本の名居酒屋 15 軒を紹介する。

読売新聞 2022/08/28

2022:7./ 223p
978-4-910352-29-9
¥2,200〔税込〕

万葉集<1>(岩波文庫　黄版　5-1)

佐竹　昭広／山田　英雄／工藤　力男 著
岩波書店
天皇から名もなき男女までの、人々の心のかたちを映し出す最古の歌集「万葉集」に、現代語訳と注釈を付す。1 には「巻 1-4」を収め、額田王、大津皇子、柿本人麻呂、山部赤人、大伴家持らの歌を掲載する。

日本経済新聞 2022/08/06

2013:1./ 531p
978-4-00-300051-9
¥1,298〔税込〕

万葉集<2>(岩波文庫 30-005-2)

佐竹　昭広、山田　英雄、工藤　力男、大谷　雅夫、山崎　福之 著
岩波書店
天皇から名もなき男女までの、人々の心のかたちを映し出す最古の歌集「万葉集」に、現代語訳と注釈を付す。2 には「巻 5-8」を収め、大伴旅人、山上憶良らの歌を掲載する。

日本経済新聞 2022/08/06

2013:7./ 481p
978-4-00-300055-7
¥1,276〔税込〕

万葉集<3>(岩波文庫　30-005-3)

佐竹　昭広／山田　英雄／工藤　力男 著
岩波書店
天皇から名もなき男女までの、人々の心のかたちを映し出す最古の歌集「万葉集」に、現代語訳と注釈を付す。3 には「巻 9-12」を収め、旅の歌、浦島や乙女たちの伝説歌、四季に寄せた歌、古今の相聞歌などを掲載する。

日本経済新聞 2022/08/06

2014:1./ 489p
978-4-00-300056-4
¥1,276〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

万葉集<4>(岩波文庫　30-005-4)

岩波書店

天皇から名もなき男女までの、人々の心のかたちを映し出す最古の歌集「万葉集」に、現代語訳と注釈を付す。4 には、「巻 13-17」を収め、東国の恋の歌、遣新羅使の旅の詩、越中に赴任した大伴家持の歌などを掲載する。

日本経済新聞 2022/08/06

2014:8./ 463p
978-4-00-300057-1
¥1,276〔税込〕

万葉集<5>(岩波文庫　黄版　5-5)

岩波書店

天皇から名もなき男女までの、人々の心のかたちを映し出す最古の歌集「万葉集」に、現代語訳と注釈を付す。5 には、「巻 18-20」を収め、越中遊覧の歌、防人の歌、正月賀歌などを掲載する。

日本経済新聞 2022/08/06

2015:3./ 371p,132p
978-4-00-300058-8
¥1,276〔税込〕

平家物語< 1 >(岩波文庫)

梶原　正昭、山下　宏明 著

岩波書店

日本経済新聞 2022/08/06

1999:7./ 398p
978-4-00-301131-7
¥1,111〔税込〕

平家物語< 3 >(岩波文庫)

梶原　正昭、山下　宏明 著

岩波書店

日本経済新聞 2022/08/06

1999:9./ 367p
978-4-00-301133-1
¥1,111〔税込〕

科学と方法　改訳(岩波文庫)

ポアンカレ 著

岩波書店

ポアンカレの最後の完成された哲学的著作。彼の専門である数学、力学、天文学、物理学その他の自然科学の諸分科における方法論を大成したのみならず、生地のままの頭脳にいかなる方法で新しい概念を徹底させるかという科学教育に関する基本的指針を提示したものである。科学者、心理学者、哲学者、また教育家に一読をすすめる。

日本経済新聞 2022/08/06

1953:10./ 304,p
978-4-00-339022-1
¥990〔税込〕

リンカーン演説集(岩波文庫)

リンカーン 著

岩波書店

日本経済新聞 2022/08/06

1979:1./ 191p
978-4-00-340121-7
¥858〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

おくのほそ道　新版(角川ソフィア文庫)

松尾　芭蕉／潁原　退蔵／尾形　仂／角川書店装丁室 著
角川書店
日本経済新聞 2022/08/06

2003:3./ 381p
978-4-04-401004-1
¥836〔税込〕

オカルト編集王～月刊「ムー」編集長のあやしい仕事術～

三上丈晴 著
学研プラス
“不思議”はどのように創造されるのか。UFO、UMA、心霊写真、ユリ・ゲラーなど数々のヒット記事に隠された真実とは…。オカルト雑誌「ムー」編集長が謎に包まれた仕事術や、編集を通して感じたこと、考えたことを綴る。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 326p
978-4-05-406821-6
¥1,540〔税込〕

方法叙説(講談社学術文庫 2700)

ルネ・デカルト 著
講談社
どんな学問にも満足せず、「世界という大きな書物」をめぐったあと、「炉部屋の思索」の中で哲学の原理を探求したデカルト。<私は思考する、故に、私は存在する>という真理に到達する過程を描いた著作を新たに訳し下ろす。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:1./ 105p
978-4-06-526729-5
¥715〔税込〕

マイホーム山谷

末並 俊司 著
小学館
東京・山谷にあるホームレスの人のためのホスピス施設「きぼうのいえ」。創設者で施設長だった山本雅基は、現在解任され介護を<受ける側>に-。ドヤ街で「理想のケア」を追い求めた男の栄光と挫折を記したノンフィクション。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:5./ 245p
978-4-09-388857-8
¥1,650〔税込〕

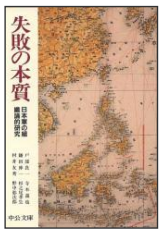
新疆ウイグル自治区～中国共産党支配の 70 年～(中公新書　2700)

熊倉 潤 著
中央公論新社
習近平政権のもと、深刻な人権侵害が指摘されている新疆ウイグル自治区。自治区の成立当初は「解放」を謳った中国共産党は、なぜ過酷な統治姿勢に転じたのか。新疆地域の歴史を丁寧にたどり、その現在と未来を考察。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 6p,252p
978-4-12-102700-9
¥946〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部　良一 著
中央公論新社
大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

日本経済新聞 2022/08/06

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4
¥838〔税込〕

ハリガネムシ(文春文庫)

吉村 萬壱 著
文芸春秋
愛ではない。堕落でもない。あの女からもう一つの世界を知った、それだけ。身の内に潜む「悪」を描き切った驚愕の芥川賞受賞作！

日本経済新聞 2022/08/06

2006:8./ 280p
978-4-16-767998-9
¥628〔税込〕

CF

吉村萬壱 著
徳間書店
罪を犯しても責任を取る必要がない“無化”を行う企業・Central Factory(CF)。加害者と被害者の苦しみを取り除き、世を平穏へと導く企業に疑問を持つ男が現れて…。罪とは何か。責任の取り方を問う群像劇。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 270p
978-4-19-865478-8
¥1,870〔税込〕

臣女(徳間文庫 よ 24-1)

吉村　萬壱 著
徳間書店
妻が大きくなっていく。骨を軋ませ、糞尿を垂れ流し、不明瞭な言葉を発しながら。監視する隣人、詮索してくる同僚、言葉で殺そうとする母。助けは、要らない。ひとりで介護する夫の極限の日々が始まった…。

日本経済新聞 2022/08/06

2016:9./ 327p
978-4-19-894149-9
¥715〔税込〕

アインシュタイン選集～特殊相対性理論・量子論・ブラウン運動～<１>　特殊相対性理論・量子論・ブラウン運動

アルベルト・アインシュタイン 著
共立出版
日本経済新聞 2022/08/06

1994:10./ 291p
978-4-320-03019-0
¥7,920〔税込〕

アインシュタイン選集～一般相対性理論および統一場理論～<２>　一般相対性理論および統一場理論

アルベルト・アインシュタイン 著
共立出版
日本経済新聞 2022/08/06

1970:1./ 334p
978-4-320-03020-6
¥8,140〔税込〕

アインシュタイン選集～アインシュタインとその思想～<3>　アインシュタインとその思想

アルベルト・アインシュタイン 著
共立出版
日本経済新聞 2022/08/06

1972:1./ 477p
978-4-320-03021-3
¥9,900〔税込〕

ただ、一緒に生きている

坂本美雨 著
光文社
子育てについて書くことは、自分を見つめることでした-。2016 年 5 月から 2022 年 2 月までの日記を、写真を添えてまとめる。『東京新聞』連載に、自らの生い立ちなど書き下ろしを加えて書籍化。佐治晴夫との対談も収録。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 239p
978-4-334-95312-6
¥1,760〔税込〕

子どもに学ぶ言葉の認知科学(ちくま新書　1667)

広瀬　友紀 著
筑摩書房
「これ食べたら死む?」「のび太 vs.のび太」…。子どものヘンテコな答えや言葉遣いの背後にある、子どもや人間一般の心の働き、認知のしくみ、言葉の性質について楽しく学べる書。『web ちくま』連載を大幅に加筆修正。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:7./ 234p
978-4-480-07493-5
¥946〔税込〕

ニュー・ダッド～あたらしい時代のあたらしいおっさん～

木津　毅 著
筑摩書房
時代は変わった。だからこそ、<男らしさ>を乗り越える「あたらしいおっさん=ニュー・ダッド」たちを愛したい! 国内外のポップカルチャーをヒントに、これからの「父性」「男性性」を考える。cakes 連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:7./ 253p
978-4-480-81568-2
¥1,870〔税込〕

競争と秩序～東南アジアにみる民主主義のジレンマ～

川中　豪 著
白水社
なにが民主主義をはばむのか。暴力的衝突、権力監視の浸食、操作された制度。民主主義の困難な歩みを経験してきた東南アジア諸国を具体的な事例として、民主主義一般に通底する問題を解き明かす。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 207p,32p
978-4-560-09434-1
¥2,970〔税込〕

ソーシャルメディア・プリズム～SNS はなぜヒトを過激にするのか?～

クリス・ベイル 著
みすず書房
ソーシャルメディアにおける政治的部族主義の根本原因は、人々の心の奥底にある-。計算社会科学の最先端を走る研究者が、Twitter ボットによるフィールド実験でその真の原因を解明。政治的分極化への処方箋を提示する。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 173p,56p
978-4-622-09083-0
¥3,740〔税込〕

よみがえるヴァンパイア～人はなぜ吸血鬼に惹かれつづけるのか～

エリック・バトラー、松田　和也 著
青土社
1725 年、セルビアの医師が王への報告書にある怪物の名を記した。その名は「ヴァンパイア」-。伝承、文学、映画、ジャーナリズム、政治、音楽などあらゆるジャンルの資料を渉猟し、「ヴァンパイア」の正体に迫る。

日本経済新聞 2022/08/06

2016:5./ 244p,2p
978-4-7917-6930-8
¥2,640〔税込〕

ザ・クイーン～エリザベス女王とイギリスが歩んだ一〇〇年～

マシュー・デニソン 著
カンゼン
スエズ動乱、フォークランド紛争から EU 離脱、新型コロナウイルス、ダイアナ元妃の事故死、孫夫婦の王室離脱まで。英国と世界の激動の歴史とともに生きた、エリザベス 2 世の生涯を描くノンフィクション。写真も多数掲載する。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:6./ 596p
978-4-86255-646-2
¥3,300〔税込〕

原爆ドーム再生の奇跡

古川　修文 著
南々社
戦後 20 余年、放置されて存廃にゆれた広島県物産陳列館とはどんな建物だったのか?保存が決まり、建築家・佐藤重夫のもとに全国から技術者・技能者たちが集結。保存工事に邁進し…。原爆ドームの知られざる軌跡をたどる。

日本経済新聞 2022/08/06

2022:7./
10p,269p,10p
978-4-86489-145-5
¥2,090〔税込〕

無限の天才～夭逝の数学者・ラマヌジャン～

ロバート・カニーゲル 著
工作舎
インドの田舎町にうまれ、独学で高等数学を修め、数多くの公式を発見した天才ラマヌジャン。英国数学界の頂点に立つハーディが彼をイギリスに呼び寄せ、共同研究が始まった…。2016 年公開映画「奇蹟がくれた数式」の原作。

日本経済新聞 2022/08/06

2016:9./ 381p
978-4-87502-476-7
¥6,050〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

あの日を刻むマイク～ラジオと歩んだ九十年～(集英社文庫 た 98-1)

武井 照子 著
集英社
自由でのびやかな子供の頃、戦争の足音がする少女期、GHQ の統治下で担当した「婦人の時間」…。94 歳、NHK の「働く母親第一号」である元ラジオアナウンサーが、激動の半生を振り返る。

日本経済新聞 2022/08/06、朝日新聞 2022/08/13

2022:7./ 348p
978-4-08-744412-4
¥770〔税込〕

人口大逆転～高齢化、インフレの再来、不平等の縮小～

チャールズ・グッドハート／マノジ・プラダン 著
日経ＢＰ社
これから 30 年、本格的なインフレと金利上昇の時代がやってくる! 「グッドハートの法則」で知られる経済学者らが、高齢化とグローバル化の減速に伴い世界経済の構造が激的に変化することを骨太に説く。

日本経済新聞 2022/08/06、読売新聞 2022/08/14

2022:5./ 373p
978-4-296-11309-5
¥3,300〔税込〕

トカイナカに生きる(文春新書　1368)

神山 典士 著
文藝春秋
トカイとイナカのいいとこ取りエリアである、都心から電車で 1.5 時間の「トカイナカ」。「トカイナカで起業する」「有機農業をする」「パラレルワークする」など、トカイナカ生活を実践している人たちの実態をレポートする。

日本経済新聞 2022/08/06、毎日新聞 2022/08/27

2022:6./ 228p
978-4-16-661368-7
¥990〔税込〕

森鷗外～学芸の散歩者～(岩波新書 新赤版 1937)

中島 国彦 著
岩波書店
多彩な小説を発表、軍医高官として論文執筆や公務もこなし、荷風など後進の作家にも目をかけ、子どもたちから優しいパッパと慕われる-。学問と芸術の世界を自由に歩き回った等身大の森鷗外の姿を、同時代の証言とともに辿る。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:7./ 3p,246p,2p
978-4-00-431937-5
¥968〔税込〕

大江健三郎全小説全解説

尾崎 真理子 著
講談社
1957 年のデビュー以来、約 60 年間に書かれた大江健三郎の長編 30 作、中・短編 66 作を全て解説。あらすじ、登場人物から状況設定、執筆時の時代背景、主要批評、新解釈等を掲載する。年譜、全作品書誌、文献一覧も収録。

日本経済新聞 2022/08/13

2020:9./ 514p,11p
978-4-06-519506-2
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

大江健三郎と「晩年の仕事」

工藤 庸子 著
講談社
大江健三郎の底知れない創作力の根源には何があるのか。大江文学に魅了されたフランス文学者が、彼の「晩年の仕事」を精緻に読み直し、大江=世界文学の先見性と深淵に迫った評論。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:3./ 478p
978-4-06-526042-5
¥3,300〔税込〕

ロシアの星

アンヌ=マリー・ルヴォル 著
集英社
1961 年に人類で初めて宇宙飛行を果たしたガガーリン。強大な国家を背負った男の栄光と悲哀。彼に変えられた数多の人生。そして宇宙への見果てぬ夢を描く、フランス人作家による連作短編小説集。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:6./ 348p
978-4-08-773518-5
¥2,750〔税込〕

パンデミック日記

「新潮」編集部 編
新潮社
世界中が新型コロナウイルスに翻弄された激動の 2020 年を、表現者たちはいかに生きたのか? 筒井康隆、ヤマザキマリ、坂本龍一ら 52 人が書き留めた計 366 日の「個人的な体験」を、日記リレーで未来に伝える。

日本経済新聞 2022/08/13

2021:6./ 215p
978-4-10-354051-9
¥1,980〔税込〕

「歴史の終わり」の後で

マチルデ・ファスティング 編
フランシス・フクヤマ 著
中央公論新社
世界に衝撃を与えたベストセラー「歴史の終わり」刊行から 30 年。著者のフランシス・フクヤマがマチルデ・ファスティングのインタビューに応え、「自由」と「民主主義」の危機を前に自ら<歴史の終わり>を再考する。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:5./ 341p
978-4-12-005535-5
¥2,530〔税込〕

観光亡国論(中公新書ラクレ　650)

アレックス・カー、清野　由美 著
中央公論新社
増加する訪日外国人観光客。京都をはじめ観光地にはキャパシティを超える人が殺到し、交通や景観、住環境などでトラブルが続発している。真の観光立国を果たすべく建設的な解決策を、世界の事例を盛り込みながら検討する。

日本経済新聞 2022/08/13

2019:3./ 220p
978-4-12-150650-4
¥902〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界珍食紀行(文春新書　1362)

山田 七絵 著
文藝春秋
開発途上国の専門家が集うアジア経済研究所の職員・元職員が、世界の 35 の国・地域で体験した食をめぐるカルチャー・ショックについて語る。『アジ研ワールド・トレンド』『IDE スクエア』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:7./ 245p
978-4-16-661362-5
¥1,078〔税込〕

中小企業金融の経済学～金融機関の役割政府の役割～

植杉 威一郎 著
日経ＢＰ社
中小企業金融が、必要な流動性を供給し効率的な資金配分を行っているかを、実証的に検証。企業や地域での資金配分の規模と効率性、政府の役割、貸出市場における金融機関の行動という側面に焦点を当てる。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:6./ 7p,407p
978-4-296-11344-6
¥4,400〔税込〕

ヌシ～神か妖怪か～

伊藤龍平 著
笠間書院
蛇から龍、河童、蜘蛛まで、人知では測れない霊力を持つ巨大生物、ヌシ(主)。人とヌシとのつきあい、ヌシの種類・行動、文学のなかのヌシなど、多様な視点からヌシに迫り、ヌシ伝承に息づく日本人と自然との共生を読み解く。

日本経済新聞 2022/08/13

2021:8./ 270p
978-4-305-70943-1
¥1,760〔税込〕

無国籍と複数国籍～あなたは「ナニジン」ですか?～(光文社新書　1206)

陳天璽 著
光文社
無国籍や複数国籍の当事者は、これまでどのような経験をし、何を思って生きてきたのか、どんなアイデンティティを有しているのか。「無国籍者」として人生の大半を過ごしてきた著者が、国・国籍・国境を問い直す。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:6./ 312p
978-4-334-04615-6
¥1,078〔税込〕

「静かな人」の戦略書～騒がしすぎるこの世界で内向型が静かな力を発揮する法～

ジル・チャン 著
ダイヤモンド社
「はったり」はいらない、「他人の感情」に振り回されない、あえて「正反対」の相手とタッグを組む、上司を「管理」して正当な評価を得る…。「静かで控えめ」な人の潜在能力を最大限に発揮する方法を伝える。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:6./ 343p,5p
978-4-478-11147-5
¥1,650〔税込〕

「アニメ評論家」宣言　増補改訂版(ちくま文庫　ふ 57-1)

2022:7./ 557p
978-4-480-43820-1
¥1,210〔税込〕

藤津　亮太 著
筑摩書房
1968～2004 年までに公開されたアニメ作品を中心に、ユニークな視点と、アニメの表現技法・製作現場・歴史への深い知識をもって語りつくす。アニメの見方を変える傑作評論。

日本経済新聞 2022/08/13

インバウンド再生～コロナ後への観光政策をイタリアと京都から考える～

2020:11./ 282p
978-4-7615-2750-1
¥2,640〔税込〕

宗田　好史 著
学芸出版社
海外からの観光客が途絶えて、その経済的損失の大きさにたじろぎ、インバウンドの再生を待ち望む声が高まっている。しかし拙速な回復策は禁物。身近な場所での異文化交流を文化都市に転換する力にする観光政策のあり方を示す。

日本経済新聞 2022/08/13

ポスト・オーバーツーリズム～界隈を再生する観光戦略～

2020:12./ 233p
978-4-7615-2760-0
¥2,750〔税込〕

阿部　大輔／石本　東生／江口　久美 著
学芸出版社
地域社会の居住環境改善につながる持続的なツーリズムを導く方策とは。オーバーツーリズムに直面した欧州・国内計 8 都市の状況と住民の動き、政策的対応をルポ的に紹介し、アフターコロナにおける観光政策の可能性を示す。

日本経済新聞 2022/08/13

生命機械が未来を変える～次に来るテクノロジー革命「コンバージェンス 2.0」の衝撃～

2022:6./ 257p
978-4-7726-9576-3
¥2,530〔税込〕

スーザン・ホックフィールド 著
合同出版
ウイルスが育てるバッテリー、脳とつながる画期的な義肢、食糧危機に対応できる望ましい遺伝的形質をもつ植物変異株を迅速に見つけ出す高速フェノタイピング…。MIT が進めるテクノロジー革命の最前線を伝える。

日本経済新聞 2022/08/13

ツチノコの民俗学～妖怪から未確認動物へ～

2008:8./ 267p
978-4-7872-2029-5
¥2,200〔税込〕

伊藤　竜平 著
青弓社
江戸期には「妖怪」、１９７０年代には「幻のヘビ」として全国を騒がせ、いまでは実在と不在の渦のなかで夢を与えつづけているツチノコ。恐怖の存在が観光資源になり、海外でも受容されるようになるまでの足跡をたどる。

日本経済新聞 2022/08/13

MARUZEN-YUSHODO

何かが後をついてくる～妖怪と身体感覚～

伊藤 龍平 著
青弓社
後ろに誰かいる気がする、何か音が聞こえる…。「妖怪」とは、身体感覚の違和感のメタファーである。日本や台湾の説話、伝承、口承文芸、恐い話をひもとくことで、不定形な妖怪に迫り、闇への原初的な恐怖を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2022/08/13

2018:8./ 255p
978-4-7872-2076-9
¥2,200〔税込〕

ネットロア～ウェブ時代の「ハナシ」の伝承～

伊藤 龍平 著
青弓社
怪談や怪奇現象、秘境、未確認生物などをめぐる説話は、ネット時代にどのように伝承されているのか。奇妙な「ハナシ」がインターネット上で増殖していく仕組みを、「2 ちゃんねる」などの掲示板を中心に明らかにする。

日本経済新聞 2022/08/13

2016:2./ 198p
978-4-7872-3398-1
¥2,200〔税込〕

観光再生～サステナブルな地域をつくる 28 のキーワード～

村山 慶輔 著
プレジデント社
COVID-19 で加速する世界、そして日本での“観光再生”への動き。「コミュニティ・ツーリズム」「観光型 MaaS」「食の多様化」など 28 のキーワードをもとに、サステナブルな観光をつくるためのヒントを紹介する。

日本経済新聞 2022/08/13

2020:11./ 285p
978-4-8334-2385-4
¥1,980〔税込〕

空気の日記～23 人の詩人が綴ったコロナ禍のリレー日記 365 日～

松田朋春／新井高子／石松佳／覚和歌子／柏木麻里／カニエ・ナハ／川口晴美／河野聡子／白井明大／鈴木一平／ジョーダン・A・Y・スミス／田中庸介／田野倉康一／永方佑樹／藤倉めぐみ／さとう三千魚／三角みづ紀／峯澤典子／宮尾節子／山田亮太／四元康祐／渡辺玄英／文月悠光 著
書肆侃侃房
コロナ禍ですべての社会活動が急停止した 2020 年 4 月から 2021 年 3 月までの 1 年間、23 人の詩人たちがその日の出来事とその時の感情を簡潔に、詩のかたちで記した輪番日記。『SPINNER』連載を単行本化。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:7./ 464p
978-4-86385-532-8
¥2,420〔税込〕

「繊細さん」の本～「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる～

武田 友紀 著
飛鳥新社
繊細さんは、自分のままで生きることでどんどん元気になっていく! HSP(とても敏感な人)専門カウンセラーが、繊細でストレスを感じやすい人が、繊細な感性を大切にしたまま、ラクに生きる方法を伝授する。

日本経済新聞 2022/08/13

2018:8./ 238p
978-4-86410-626-9
¥1,324〔税込〕

もえる!いきものののりくつ

中田兼介 著
ミシマ社
妻を亡くしたクマノミは性転換する、アリは自前の抗生物質で感染症対策をする…。動物行動学者が、いきものたちの驚きの生態と「りくつ」を解説。『京都新聞』等連載に書き下ろしを加え書籍化。典拠論文の QR コード付き。

日本経済新聞 2022/08/13

2022:7./ 221p
978-4-909394-72-9
¥1,980〔税込〕

誰も断らない～こちら神奈川県座間市生活援護課～

篠原匡 著
朝日新聞出版
生活困窮者とその予備軍を可視化し、必要な手を差し伸べている「座間市生活援護課」と「チーム座間」。「命を守るサービス」を届けるために奮闘する人びとを描いたルポルタージュ。対談「困窮者支援の未来」も収録。

日本経済新聞 2022/08/13、朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 268p
978-4-02-251825-5
¥1,870〔税込〕

恐るべき子ども～リュック・ベッソン『グラン・ブルー』までの物語～(&books)

リュック・ベッソン 著
辰巳出版
ぼくは圧倒的なブルーのなかにいた。ようやく自分の居場所が見つかった。永遠にいられる場所が-。海に魅了された少年時代から、29 歳で映画「グラン・ブルー」の映像化を成し遂げるまでの道のりを綴ったメモワール。

日本経済新聞 2022/08/13、朝日新聞 2022/08/20

2022:6./ 556p
978-4-7778-2937-8
¥3,080〔税込〕

ドナルド・キーンと俳句

毬矢　まりえ 著
白水社
生涯を「日本文学の伝道師」として捧げたドナルド・キーン。その日本文化研究と伝播の原点を、ドナルド・キーン賞特別賞受賞の俳人が、独自の視点で解き明かす。未発表を含むドナルド・キーンの俳句 25 句も紹介。

日本経済新聞 2022/08/13、読売新聞 2022/08/14

2022:7./ 269p
978-4-560-09453-2
¥2,970〔税込〕

台湾の少年<1> 統治時代生まれ

游 珮芸／周 見信 著
岩波書店
1930 年、日本統治時代の台湾に生まれた蔡焜霖は、教育者になることを夢見て育つ。戦後、国民党政権による支配が始まるが、ある日町役場で働く焜霖のもとへ憲兵が訪ねてきて…。白色テロの深い傷を描く台湾の歴史コミック。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 169p
978-4-00-061545-7
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

台湾の少年<2> 収容所島の十年

游 珮芸／周 見信 著

岩波書店

1950 年、無実の罪で逮捕された蔡焜霖は、激しい拷問に遭い、自白を強要され、政治犯として離島に送られる。そして 10 年間、強制労働に従事し、「再教育」を受け…。白色テロの深い傷を描く台湾の歴史コミック。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 189p
978-4-00-061546-4
¥2,640〔税込〕

万葉学者、墓をしまい母を送る(講談社文庫 う 65-2)

上野 誠 著

講談社

現代万葉研究を大きくリードする学者は、故郷福岡の墓をしまい老いた母を呼び寄せ、7 年間介護して見送った息子でもあった…。体験と学問を軽妙な筆致で往来し、死について深く考え綴ったエッセイ。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:8./ 208p
978-4-06-528756-9
¥682〔税込〕

岳飛伝<1> 三霊の章(集英社文庫 き 3-83)

北方 謙三 著

集英社

楊令なき混沌とした大地。洪水に埋もれる梁山泊。自由市場を狙う南宋。そして独立軍閥・岳飛は金国との戦いに備え、中華に独り立つ…。北方大水滸伝構想・第 3 部開幕。

日本経済新聞 2022/08/20

2016:11./ 390p
978-4-08-745511-3
¥660〔税込〕

水滸伝<19> 旌旗の章(集英社文庫)

北方 謙三 著

集英社

日本経済新聞 2022/08/20

2008:4./ 395p
978-4-08-746282-1
¥858〔税込〕

楊令伝<15> 天穹の章(集英社文庫 き 3-81)

北方 謙三 著

集英社

新しい国の実現を賭けて、梁山泊軍は南宋軍と最後の闘いを続ける。自由市場は江南を席巻し、勝利は目前と見えた。だが、百年に一度の大洪水が、梁山泊を襲う。楊令は吹毛剣を手に、敵将・岳飛の前に立つが…。最終巻。

日本経済新聞 2022/08/20

2012:8./ 388p
978-4-08-746865-6
¥660〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

八月の銀の雪

伊与原 新 著

新潮社

コンビニのベトナム人店員が就活連敗中の理系大学生に見せた驚きの姿、シングルマザーが聞いた深海の話、原発の下請け会社を辞めて一人旅する男…。科学の揺るぎない真実が人知れず傷ついた心を救う 5 篇の物語を収録する。

日本経済新聞 2022/08/20

2020:10./ 253p
978-4-10-336213-5
¥1,760〔税込〕

日本のコメ問題～5 つの転換点と迫りくる最大の危機～(中公新書　2701)

小川 真如 著

中央公論新社

稲作伝来以来、コメ不足に悩まされ、自給自足を達成した日本人。半世紀で大変貌を遂げた日本人とコメの関係を、転換点ごとに概観。そしてコメ余りから、田んぼ余り、農地余りという迫りくる最大の危機に警鐘を鳴らす。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:6./ 4p,297p
978-4-12-102701-6
¥1,056〔税込〕

遺伝子～親密なる人類史～<上>(ハヤカワ文庫 NF 571)

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

遺伝子研究はどのような歴史を経て、今日の隆盛を迎えたのか? ピュリッツァー賞を受賞した医学者が、専門知識と自らの家系に潜む精神疾患の悲劇を織り交ぜて「遺伝子」の全てを語る科学ノンフィクション。

日本経済新聞 2022/08/20

2021:3./ 572p
978-4-15-050571-4
¥1,188〔税込〕

遺伝子～親密なる人類史～<下>(ハヤカワ文庫 NF 572)

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

遺伝情報を読むだけでなく、書き換えることができるようになったとき、人間の条件はどう変わるのか? 科学と倫理のせめぎ合いを通して、私たちの現在と未来を照らし出す。

日本経済新聞 2022/08/20

2021:3./ 588p
978-4-15-050572-1
¥1,188〔税込〕

ラーゲリ～収容所から来た遺書～(文春現代史コミックス)

辺見 じゅん／河井 克夫 著

文藝春秋

シベリア抑留中に死んだ仲間の遺書を、厳しい監視網をかい潜り、驚嘆すべき方法で日本へ持ち帰った男たちがいた-。極寒、飢餓、重労働に屈しなかった男たちの奇跡の実話をコミカライズ。『文春オンライン』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 206p
978-4-16-090125-4
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本のいちばん長い日<上>(文春現代史コミックス)

半藤 一利／星野 之宣 著

文藝春秋

昭和 20 年夏。ポツダム宣言を巡り、降伏か本土決戦かで内閣の意見は割れていた。原爆投下、ソ連参戦と追い詰められ、ついに昭和天皇の聖断を仰ぐことに-。8・15 の新解釈をマンガで描く。『文春オンライン』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 236p
978-4-16-090126-1
¥1,210〔税込〕

日本のいちばん長い日<下>(文春現代史コミックス)

半藤 一利／星野 之宣 著

文藝春秋

昭和天皇の聖断により、無条件降伏が決まった。だが、徹底抗戦派の陸軍将校らは宮城を占拠、天皇に終戦撤回を迫るが…。終戦前夜に勃発した「宮城事件」の全貌をマンガで描く。『文春オンライン』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 238p
978-4-16-090127-8
¥1,210〔税込〕

マンガ大地の子<1>(文春現代史コミックス)

山崎 豊子／かん ようこ 著

文藝春秋

戦後、中国に取り残された少年・陸一心。文化大革命の嵐が吹き荒れるなか、スパイ容疑をかけられ、内モンゴルの労働改造所へ送られて…。山崎豊子「大地の子」のコミカライズ。物語の背景がわかる解説つき。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 255p
978-4-16-391570-8
¥1,485〔税込〕

マンガ大地の子<2>(文春現代史コミックス)

山崎 豊子／かん ようこ 著

文藝春秋

養父・陸徳志の手元に、一心が内モンゴルの労働改造所に収容されていると知らせる手紙が届く。一心を助け出そうと、養父はひとり北京へ向かい…。山崎豊子「大地の子」のコミカライズ。物語の背景がわかる解説つき。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 228p
978-4-16-391571-5
¥1,485〔税込〕

日本のいちばん長い日　決定版(文春文庫)

半藤 一利 著

文芸春秋

昭和 20 年 8 月 14 日正午から 24 時間の内に起きた出来事を埋もれていた資料をもとに再現。画期的ノンフィクション待望の文庫化

日本経済新聞 2022/08/20

2006:7./ 371p
978-4-16-748315-9
¥770〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

シンクロと自由(シリーズケアをひらく)

村瀬 孝生 著
医学書院
人としての時と場を失ってしまったのは、認知症のお年寄りではなく我々であるように思えてくる-。老いと向きあう居場所づくりに取り組む著者が、自由と不自由が絡み合ったふしぎな話を綴る。テキストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2022/08/20

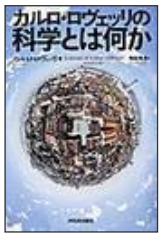
2022:7./ 285p
978-4-260-05051-7
¥2,200〔税込〕

中国減速の深層～「共同富裕」時代のリスクとチャンス～

福本 智之 著
日経ＢＰ社
不動産の下落、ハイテク分野の米中デカップリング…中国はどこまで減速するのか。世界経済への影響はどれほどのものか。詳細な現状分析を踏まえ、3 つの予測シナリオを提示するとともに、日本企業の活路を探る。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:6./ 375p
978-4-296-11378-1
¥2,420〔税込〕



カルロ・ロヴェッリの科学とは何か

カルロ・ロヴェッリ 著
河出書房新社
大地=地球が虚空に浮かんでいることを、世界で最初に見抜いた古代ギリシアの科学者アナクシマンドロス。現代の科学者の視点から、彼の思想の重要性や、それがもたらした遺産について検討し、科学的思考の本質をえぐり出す。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:2./ 275p
978-4-309-25441-8
¥2,310〔税込〕

人間の測りまちがい～差別の科学史～<上>(河出文庫)

スティーヴン・Ｊ・グールド 著
河出書房新社
人種、階級、性別などによる社会的差別を自然の反映とみなす「生物学的決定論」の論拠を、歴史的展望をふまえつつ全面的に批判したグールド渾身の力作。

日本経済新聞 2022/08/20

2008:6./ 376p
978-4-309-46305-6
¥1,650〔税込〕

人間の測りまちがい～差別の科学史～<下>(河出文庫)

スティーヴン・Ｊ・グールド 著
河出書房新社
進化論の第一人者にして科学エッセイストのグールドが科学の名の下に「人間」を測ることを徹底的に検証しつつ告発した歴史的名著。下巻は人種・民族による知能の決定を唱える『ベル・カーブ』への批判等併録。

日本経済新聞 2022/08/20

2008:6./ 389,32p
978-4-309-46306-3
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

住宅開発秘史～昭和の東京郊外～(光文社新書 1216)

三浦展 著

光文社

戦後、住宅難から発生した土地開発バブルによる悲喜こもごものドラマを経て郊外は発展していった。当時の不動産チラシ 140 枚をもとに首都圏各所の「夢の跡地」を訪ね、家と町の歴史を考証する新しい住宅史。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:8./ 357p
978-4-334-04623-1
¥1,056〔税込〕

台湾流通革命～流通の父・徐重仁に学ぶビジネスのヒント～(ちくま新書 1669)

佐宮 圭 著

筑摩書房

「流通」の概念すらない台湾に物流センターを建設し、台湾セブン-イレブンを約 5 千店も出店した徐重仁。多くの企業と提携し、小売・飲食・流通サービスの一大コングロマリットを築き上げたそのビジネスに迫る。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 302p
978-4-480-07490-4
¥1,056〔税込〕

デジタル増価革命

森 健 著

東洋経済新報社

新たな社会システム「デジタル資本主義」のもとで企業が生き残るためのカギ「増価メカニズム」とは何か。デジタル資本主義を人類にとってよいものにするためのデザインとは。日本を代表するシンクタンクが徹底解説する。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:6./ 275p,11p
978-4-492-39667-4
¥1,980〔税込〕

帰りたい

カミーラ・シャムジー 著

白水社

ロンドンで暮らすムスリムの 3 人姉弟の末っ子が、ジハード戦士だった父に憧れ、イスラム国に参加する。姉たちは弟を救い出そうとするが…。パキスタン出身のイギリスの作家の、初の邦訳作品。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:6./ 326p
978-4-560-09074-9
¥3,190〔税込〕

列伝体 妖怪学前史

伊藤慎吾／氷厘亭氷泉 編

勉誠出版

「妖怪はアカデミックではない」と言われた時代にも、妖怪に魅了され、情熱をもって研究をしていた者たちがいた。現代の妖怪学に影響を与えた 23 人を、多数の貴重図版とともに紹介する。妖怪学名彙、妖怪学参考年表等も掲載。

日本経済新聞 2022/08/20

2021:11./
18p,322p,18p
978-4-585-32010-4
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

慰安婦問題論

C・サラ・ソー 著
みすず書房
朝鮮人慰安婦問題は、ジェンダー化された構造的暴力。日本のつくりだした植民地経済と、日本と朝鮮の家父長制下で何世紀ものあいだ維持されてきた性文化に検討を加えつつ、慰安婦問題に人類学の角度から解釈を加える。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./
10p,350p,24p
978-4-622-08535-5
¥4,950〔税込〕

ウクライナの夜～革命と侵攻の現代史～

池田 年穂 編
マーシ・ショア 著
慶應義塾大学出版会
マイダン革命につけこんだロシアによるクリミア併合、ロシアを後ろ盾とする反政府の分離主義武装勢力とウクライナ政府軍とのドンバス紛争へと続く事態を、ウクライナ社会の証言者たちの声を織り交ぜながら立体的に描き出す。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:6./
15p,249p,14p
978-4-7664-2828-5
¥2,750〔税込〕

宇宙を織りなすもの～時間と空間の正体～<上巻>(草思社文庫 グ 1-1)

ブライアン・グリーン 著
草思社
物理学は、いったいどのように私たちの「常識」をくつがえすのか? この世界の本当の姿は、私たちの「常識」からどれほどかけ離れているのだろうか? 古典物理学からひも理論まで、「謎」の歴史と現在を鮮やかに描き出す。

日本経済新聞 2022/08/20

2016:10./ 549p
978-4-7942-2230-5
¥1,320〔税込〕

宇宙を織りなすもの～時間と空間の正体～<下巻>(草思社文庫 グ 1-2)

ブライアン・グリーン、青木 薫 著
草思社
なぜ、割れた卵は元に戻らないのか? なぜ、科学で「宇宙のはじまり」がわかるのか? 根源的な問いにまったく新しい展望をもたらす、現代物理学による探究の成果を描き出す。

日本経済新聞 2022/08/20

2016:10./ 534p
978-4-7942-2231-2
¥1,320〔税込〕

異端の統計学ベイズ(草思社文庫 マ 3-1)

シャロン・バーチュ・マグレイン 著
草思社
現在、多分野で注目を集めるベイズ統計。実は、その 250 年余の歴史の大半において、学界では異端視されてきた。異端の理論はいかにして、先端の理論となったのか? ベイズ統計の数奇な遍歴を物語る。

日本経済新聞 2022/08/20

2018:12./ 650p
978-4-7942-2364-7
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

フランソワーズ・パストル～遠藤周作パリの婚約者～

桑原真夫 著
論創社
留学中の遠藤周作がパリで出会った“ヨーロッパの女神”、フランソワーズ。日本と数奇な縁で結ばれたその短い生涯を、2 人が交わした書簡と遺族らへの丹念な取材からあざやかに浮かび上がらせる。未公開の遠藤の恋文も収録。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 247p
978-4-8460-2185-6
¥2,640〔税込〕

ぼやいて、聞いて。

塙　宣之 著
左右社
とんちんかんなプレゼントを贈っては相手を困惑させ、とある社長に連れられた飲み会から逃げ帰り…。「人付き合いが苦手」を公言するナイツ・塙宣之が、それでも人と関わりながらたどり着いた、人間哲学を語る。

日本経済新聞 2022/08/20

2022:7./ 229p
978-4-86528-097-5
¥1,870〔税込〕

この世界の片隅に【新装版】(ゼノンコミックス DX)

こうの史代 著
コアミックス
主人公・すずは広島市から呉へ嫁ぎ、新しい家族、新しい街、新しい世界に戸惑う。だが、昭和 18 年から描かれる一日一日を確かに健気に生きていく。広島県の軍都「呉」を舞台にした、戦中を生きる小さな家族の物語。アニメ映画の大ヒットも記憶に新しい名作が令和に新装版で登場！

日本経済新聞 2022/08/20

2022:6./ 232p
978-4-86720-371-2
¥935〔税込〕
2022:6./ 216p
978-4-86720-372-9
¥935〔税込〕

ブロッコリー・レボリューション

岡田 利規 著
新潮社
泣いてるのはたぶん、自分の無力さに対してだと思う、わかんないけど-。演劇界の気鋭による、第 35 回三島由紀夫賞を受賞した表題作を含む 15 年ぶりの小説集。『新潮』など掲載を書籍化。

日本経済新聞 2022/08/20、朝日新聞 2022/08/27

2022:6./ 219p
978-4-10-304052-1
¥1,980〔税込〕

泰平を演じる～徳川期日本の政治空間と「公然の秘密」～

ルーク・S. ロバーツ 著
岩波書店
徳川の泰平は、徳川政府と大名が各々の分に応じた義務を遂行する、または遂行しているように見せかける「演技」によって作られていた。統制や制度の中でどのように政治が動いていたのかを、人々の行動に即して解き明かす。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:6./ 8p,259p,19p
978-4-00-061542-6
¥4,950〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

人口革命～アフリカ化する人類～

平野克己 著
朝日新聞出版
ほとんどの国が今世紀中に人口減少局面を迎えるなか、最も貧しい地域であるアフリカでのみ人口が増え続ける-。アフリカニストが、アフリカが 21 世紀の主役となる“人類アフリカ化”の世界を解説する。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:7./ 227p
978-4-02-251832-3
¥2,310〔税込〕

江戸の妖怪革命(角川ソフィア文庫　SP J-108-1)

香川　雅信 著
角川学芸出版
妖怪玩具、妖怪図鑑、妖怪手品のマニュアル本…。人間を怖がらせてきたはずの妖怪たちは、江戸時代にキャラクター化されて娯楽の道具となった。妖怪への意識の変化を、日本人の世界観の転換と共に論じた画期的妖怪論。

日本経済新聞 2022/08/27

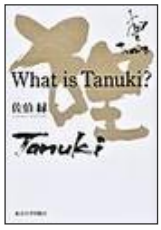
2013:6./ 309p
978-4-04-408320-5
¥859〔税込〕

宴のあと 新版(新潮文庫 み-3-16)

三島 由紀夫 著
新潮社
もはや恋愛と無縁だと思っていた料亭の女主人福沢かづは、元外相の野口雄賢と結婚。野口は請われて革新党候補となり、夫妻は選挙戦に身を投じることに…。男女の浪漫の終焉を描き、国内海外で高く評価された作品。

日本経済新聞 2022/08/27

2020:11./ 275p
978-4-10-105047-8
¥649〔税込〕



What is Tanuki?

佐伯　緑 著
東京大学出版会
タヌキってアライグマやアナグマとどこが違うの? どんな暮らしをしてるの? ほんとうに化けたり化かしたりするの? タヌキ学の研究者が、令和のポンポコ事情を明らかにする。タヌキにまつわるエッセイも収録。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:7./ 6p,147p,30p
978-4-13-063379-6
¥3,630〔税込〕

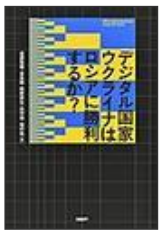
されどわれらが日々(文春文庫)

柴田 翔 著
文芸春秋
何一つ確かなもののない時代を懸命に生きようとした二人の男女を描き、60 年代～70 年代にヒットした青春文学の大ベストセラー

日本経済新聞 2022/08/27

2007:11./ 269p
978-4-16-710205-0
¥627〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



デジタル国家ウクライナはロシアに勝利するか?

渡部 恒雄／長島 純／熊野 英生／田中 理／柏村 祐 著

日経ＢＰ社

ウクライナ政府の強靱さはデジタル国家にあり。国際政治・軍事・テクノロジー・世界経済・欧州地政学の視点からウクライナ戦争を徹底分析する。ウクライナ副首相のインタビューも収録。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:7./ 414p
978-4-296-00079-1
¥2,200〔税込〕

89 歳、ひとり暮らし。～お金がなくても幸せな日々の作りかた～

大崎 博子 著

宝島社

78 歳で始めたツイッターで戦争体験から日常の思いまで綴って大人気となった著者が、自分なりの健康法や、戦争への思い、お金がなくても心豊かに暮らすためにしていることなどを語る。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:2./ 189p
978-4-299-02612-5
¥1,430〔税込〕

こびとが打ち上げた小さなボール

チョ・セヒ 著

河出書房新社

お父ちゃんをこびとなんて言った悪者は、みんな、殺してしまえばいいのよ-。70 年代ソウル。急速な都市開発を巡り、極限まで虐げられた者たちの千年の怒りが渦巻く祈りの物語。四半世紀にわたり韓国で読まれるロングセラー。

日本経済新聞 2022/08/27

2016:12./ 357p
978-4-309-20723-0
¥2,090〔税込〕

雷神と心が読めるヘンなタネ～こどものためのゲーム理論～

鎌田 雄一郎 著

河出書房新社

ゲーム理論の考え方を使えば、「相手の立場に立つ」ことができるようになる。小学 6 年生の啓一を主人公にした物語と、啓一の前に現れた“雷神”の解説で、楽しくゲーム理論について学べる本。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:6./ 221p
978-4-309-29195-6
¥1,793〔税込〕

図説日本妖怪史(ふくろうの本)

香川 雅信 著

河出書房新社

古代から、中世、江戸、現代まで、それぞれの時代の資料を丹念に紐解くことによって、妖怪たちがたどってきた歴史をオールカラーのビジュアルで紹介する。「妖怪としての鹿」「髪切り-怪異から妖怪へ」などのコラムも収録。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:1./ 127p
978-4-309-76309-5
¥2,365〔税込〕

岡村昭彦を探して～ベトナム戦争を報じた国際報道写真家の光と影～

松本直子 著
紀伊國屋書店出版部
1964 年、ベトナム戦争をいち早く報じ、時の人となった岡村昭彦。彼は何を語り、何を語らなかったのか。報道写真にとって真実とは何か? 姪である著者の丹念な取材から、人間・岡村昭彦とその生きた時代を明らかにする。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:7./ 405p
978-4-314-01192-1
¥2,750〔税込〕

82 年生まれ、キム・ジヨン

チョ・ナムジュ 著
筑摩書房
ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジヨン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。

日本経済新聞 2022/08/27

2018:12./ 189p
978-4-480-83211-5
¥1,650〔税込〕

<サラリーマン>のメディア史

谷原 吏 著
慶應義塾大学出版会
スーツを着て職場に毎朝通勤し、仕事をするサラリーマン。昭和・平成の映画、雑誌、ドラマ、漫画など、サラリーマンがサラリーマンをまなざすメディアを分析し、大衆化と差異化という視点から<普通の人々>の通史を描く。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:8./ 6p,281p
978-4-7664-2832-2
¥2,640〔税込〕

韓国文学の中心にあるもの

斎藤真理子 著
イースト・プレス
韓国で書かれた小説や詩は、なぜこんなにも面白く、パワフルで魅力的なのか。「82 年生まれ、キム・ジヨン」「少年が来る」等、日本語訳が存在する作品を取り上げて論考する。連続講座や『WEZZY』連載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:7./ 326p
978-4-7816-2093-0
¥1,650〔税込〕

74 歳、ないのはお金だけ。あとは全部そろってる

ミツコ牧師 著
すばる舎
手作りの食事と筋トレで健康維持、週 3 回のシルバー人材の仕事が張り合いに、植木の花が咲いただけ・空が晴れただけで幸せ…。牧師にして子供 4 人・孫 16 人のビッグマザーが、清貧かつ豊かな生活を綴る。

日本経済新聞 2022/08/27

2020:11./ 190p
978-4-7991-0932-8
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

87 歳、古い団地で愉しむひとりの暮らし

多良美智子 著
すばる舎
料理はとにかく簡単に、好きなお皿に盛って。ウォーキングで摘んだ草花を窓辺に飾る…。孫の撮る YouTube「Earth おばあちゃんねる」で大反響の著者が、生き方の秘訣を公開する。希望に満ちたひとり老後の指南書。

日本経済新聞 2022/08/27

2022:3./ 217p
978-4-7991-1035-5
¥1,430〔税込〕

おひとりさまの老後

上野　千鶴子 著
法研
結婚していようがいまいが、だれでも最後はひとり。“ひとりで暮らす”ための準備をしよう！　シングルが老後を元気に楽しむためのノウハウ本。住まいやお金への対策から、介護の受け方、最後の始末のつけ方まで紹介。

日本経済新聞 2022/08/27

2007:7./ 263p
978-4-87954-680-7
¥1,540〔税込〕

広場(CUON 韓国文学の名作 001)

崔　仁勲、吉川　凪 著
クオン
朝鮮半島にある二つの国家。朝鮮戦争停戦後、釈放捕虜となった李明俊は、腐敗した南に留まることも硬直した北への帰還も拒み、第三国行きを希望するが-。分断された社会の対立の狭間で葛藤し続ける人間を描く。

日本経済新聞 2022/08/27

2019:9./ 269p
978-4-904855-83-6
¥2,200〔税込〕

人種主義の歴史(岩波新書 新赤版 1930)

平野 千果子 著
岩波書店
ナショナリズムや植民地主義、反ユダヤ主義と結びつき、近代世界に計りしれぬ惨禍をもたらし、現代にも深い影を落している人種主義(レイシズム)。大航海時代から今日まで、その思想と実態を世界史的視座からとらえる入門書。

毎日新聞 2022/08/06

2022:5./ 2p,245p,21p
978-4-00-431930-6
¥1,034〔税込〕

漱石山房の人々(講談社文芸文庫　は N1)

林原 耕三 著
講談社
「あんな優しい人には 2 度と遭えないと信じている」 文豪晩年の 10 年に親炙した若き弟子が、師とその家族、先輩たち、そして執筆態度と「胃病」の関係などを綴った、漱石文学を解明する新たな側面と真実を伝える随想集。

毎日新聞 2022/08/06

2022:2./ 413p
978-4-06-526967-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

完訳日本の古典<第５５巻>　芭蕉文集・去来抄

小学館

毎日新聞 2022/08/06

1985:12./ 462p
978-4-09-556055-7
¥2,349〔税込〕

甲子園と令和の怪物(小学館新書 429)

柳川 悠二 著

小学館

2022 年 4 月、完全試合を達成した千葉ロッテ・佐々木朗希。「令和の怪物」と呼ばれたが、甲子園出場経験はない。登板回避の裏側に迫るとともに、強豪校の監督、選手、スカウトらに取材を重ね、激変の現場の実態を描く。

毎日新聞 2022/08/06

2022:8./ 253p
978-4-09-825429-3
¥946〔税込〕

ぶらんこ乗り(新潮文庫)

いしい しんじ 著

新潮社

毎日新聞 2022/08/06

2004:7./ 269p
978-4-10-106921-0
¥605〔税込〕

麦ふみクーツェ(新潮文庫)

いしい しんじ 著

新潮社

毎日新聞 2022/08/06

2005:7./ 493p
978-4-10-106922-7
¥880〔税込〕

司馬遼太郎が考えたこと<１４>　エッセイ１９８７．５～１９９０．１０(新潮文庫)

司馬　遼太郎 著

新潮社

毎日新聞 2022/08/06

2005:12./ 531p
978-4-10-115256-1
¥825〔税込〕

みずうみ(河出文庫)

いしい しんじ 著

河出書房新社

コポリ、コポリ……「みずうみ」の水は月に一度溢れ、そして語りだす、遠く離れた風景や出来事を。傑作長編。

毎日新聞 2022/08/06

2010:11./ 314p
978-4-309-41049-4
¥616〔税込〕

銃(河出文庫 な 29-1)

中村 文則 著

河出書房新社

雨が降りしきる河原で、大学生の西川が出会った動かなくなっていた男。その傍らに落ちていた黒い物体。圧倒的な美しさと存在感を持つ「銃」に魅せられた彼は、「私はいつか拳銃を撃つ」という確信を持つようになるのだが…。

毎日新聞 2022/08/06

2012:7./ 216p
978-4-309-41166-8
¥594〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

渾沌の恋人～北斎の波、芭蕉の興～

恩田 侑布子 著
春秋社
十七音の芸術表現・俳句を起点に、芸術表現の諸相をダイナミックに往還し、日本人の美意識の深遠に迫る斬新な芸術評論・日本文化論。詩歌の全貌を知るための視角と新しい道筋を、鮮やかに描く。『墨』連載を大幅加筆し書籍化。

毎日新聞 2022/08/06

2022:4./ 249p 図版 7 枚
978-4-393-44423-8
¥2,530〔税込〕

二十一世紀に生きる君たちへ～洪庵のたいまつ～

司馬　遼太郎 著
世界文化社
小学校国語教科書に収められた「二十一世紀に生きる君たちへ」「洪庵のたいまつ」を収録。子どもは何をしなくてはならないのか？　人は何のために生きるのか？　その答えが司馬遼太郎の肉声で聞こえてくる。

毎日新聞 2022/08/06

2001:2./ 47p
978-4-418-01504-7
¥1,320〔税込〕

ウイルスって何だろう～どこから来るのか?～(ちくま Q ブックス)

青野　由利 著
筑摩書房
生物でも無生物でもない、フシギな存在、ウイルス。ウイルスの全般的な知識から、新型コロナウイルスの特徴と新型ウイルスの由来、ウイルスと人類の闘いまでを解説し、感染症と社会の関わりについて考察する。

毎日新聞 2022/08/06

2022:7./ 122p
978-4-480-25135-0
¥1,210〔税込〕

憑きそい

山森めぐみ 著
扶桑社
線路に佇む怪しい影、首がくしゃっと曲がった赤ちゃん…。なぜかほかの人には視えないものが視えてしまうごく普通の主婦(ときどき占い師)が描く、すべて実体験のトラウマ系心霊マンガ。後味の悪い全 13 話を収録。

毎日新聞 2022/08/06

2022:2./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-594-08934-4
¥1,155〔税込〕

外国人集住団地～日本人高齢者と外国人の若者の“ゆるやかな共生”～(扶桑社新書 434)

岡﨑広樹 著
育鵬社
外国人が居住者の半数以上を占め、日本人住民の高齢化も著しく、「近未来の日本の縮図」とも言われる埼玉県川口市の芝園団地。同団地に移住し、多文化共生への取り組みで注目されている著者が、課題と道筋を提言する。

毎日新聞 2022/08/06

2022:7./ 247p
978-4-594-09048-7
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

路上の陽光

ラシャムジャ 著
書肆侃侃房
チベット文学を牽引する作家の代表作を含む日本オリジナル短編集。10 歳の少年が放牧の手伝いをしながら成長していく姿を描く「西の空のひとつ星」、日本を舞台にした「遙かなるサクラジマ」など、全 8 作品を収録。

毎日新聞 2022/08/06

2022:3./ 268p
978-4-86385-515-1
¥2,200〔税込〕

書こうとしない「かく」教室(MSLive!BOOKS)

いしいしんじ 著
ミシマ社
書こうとしない作家・いしいしんじの名作は、どのように“かかれた”のだろう? 移り住む土地、数奇なる半生、創作…3 つの関係を振り返り、その謎に迫る講義録。ミシマ社のオンラインイベントの内容を再構成し加筆・修正。

毎日新聞 2022/08/06

2022:4./ 217p
978-4-909394-66-8
¥1,980〔税込〕

自由対談

中村 文則 著
河出書房新社
デビュー20 周年を迎える中村文則が、文学から映画・音楽、社会問題・テクノロジーまでを語り尽くす対談集。桃井かおり、高橋源一郎、姜尚中、大江健三郎ら 33 名との対談を収録する。

毎日新聞 2022/08/06、東京・中日新聞 2022/08/21

2022:7./ 444p
978-4-309-03054-8
¥2,475〔税込〕

かこさとし～子どもたちに伝えたかったこと～

かこ　さとし／鈴木　万里／鈴木　愛一郎 著
平凡社
「ヒコー少年」と自らを呼んでいた絵本作家かこさとし。彼の青年期の絵画から、セツルメント活動時代の紙芝居や幻灯、さまざまな分野の絵本までを紹介する。2022 年 7～9 月開催の展覧会の公式図録。

毎日新聞 2022/08/06、読売新聞 2022/08/14

2022:7./ 111p
978-4-582-20726-2
¥1,650〔税込〕

無垢の歌～大江健三郎と子供たちの物語～

野崎 歓 著
生きのびるブックス
大江健三郎の描く子供たちは、なぜひときわ鮮烈な印象を残すのか。子供時代と強いきずなで結ばれ、子供とつながる想像力に支えられている大江文学の素晴らしさを伝える。「生きのびるブックス」ウェブサイト掲載を書籍化。

毎日新聞 2022/08/06、日本経済新聞 2022/08/13

2022:8./ 229p
978-4-910790-04-6
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

プリンシパル

長浦 京 著
新潮社
1945 年、東京。大物極道の娘・綾女は兄たちが戦地から帰還するまでの「代行」役となる。綾女が辿る、鮮血に彩られた闘争の遍歴は、やがて戦後日本の闇をも呑み込み…。『小説新潮』連載を加筆修正。

毎日新聞 2022/08/07

2022:7./ 539p
978-4-10-354711-2
¥2,310〔税込〕

ギャンブラーが多すぎる(新潮文庫　ウ-26-1)

ドナルド・E・ウェストレイク 著
新潮社
タクシー運転手チェットは大のギャンブル好き。ノミ屋のトミーを訪ねると、彼は撃ち殺されていた。容疑者にされたうえ 2 つのギャング組織から追われることになったチェットは、トミーの妹と組んで真犯人を探すことに…。

毎日新聞 2022/08/07、朝日新聞 2022/08/27

2022:8./ 441p
978-4-10-240231-3
¥880〔税込〕

ぼくらの戦争なんだぜ(朝日新書　874)

高橋源一郎 著
朝日新聞出版
教科書、戦争小説、戦争詩を読んで見えてきた、人々を戦争に駆り立てることばの正体とは。遠い世界での「彼らの戦争」を考えながら、「ぼくらの戦争」とは何なのかを考える。『小説トリッパー』連載を改題、加筆修正し新書化。

毎日新聞 2022/08/13

2022:8./ 473p
978-4-02-295157-1
¥1,320〔税込〕

無常という事　改版(角川文庫)

小林秀雄（１９０２－１９８３） 著
角川書店
毎日新聞 2022/08/13

1983:7./ 216p
978-4-04-114103-8
¥331〔税込〕

タテ社会の人間関係(講談社現代新書)

中根 千枝 著
講談社
なぜ日本人は上下の順番のつながりを気にするのか?なぜ日本人は資格(職業など)よりも場(会社など)の共有を重視するのか?－日本の社会構造を鋭く析出したベストセラー!

毎日新聞 2022/08/13

1967:2./ 189p
978-4-06-115505-3
¥880〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

縄文人と弥生人～「日本人の起源」論争～(中公新書　2709)

坂野 徹 著
中央公論新社
「日本人の起源」の定説が 20 世紀後半に定着するまで、様々な説が唱えられてきた。骨と土器に魅せられ、起源を探求した研究者たちの 100 年の物語を辿り、日本人起源論の思想的流れと政治・社会の関係について考える。

毎日新聞 2022/08/13

2022:7./ 8p,301p
978-4-12-102709-2
¥1,034〔税込〕

ペーパー・リリイ

佐原 ひかり 著
河出書房新社
杏は結婚詐欺師の叔父に育てられている高校 2 年生。夏休みの朝、叔父に 300 万円をだまし取られた女性キヨエが家にやってきた。家から 500 万円を持ち出し、杏はキヨエと 1 週間限定の旅に出る。目指すは幻の百合!

毎日新聞 2022/08/13

2022:7./ 216p
978-4-309-03050-0
¥1,760〔税込〕

世界の市場～おいしい!たのしい!24 のまちでお買いもの～

マリヤ・バーハレワ 著
河出書房新社
イスラエル、チリ、タイ、スペイン、アメリカ、ロシア、中国…。世界 12 か国 24 都市の市場を訪ねよう! 旅をするように各地の様子を楽しみながら、その町の食や環境、地域性を学べる絵本。各国の家庭料理レシピ付き。

毎日新聞 2022/08/13

2022:5./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-309-29190-1
¥2,002〔税込〕

古地図と地形図で発見!鎌倉街道伝承を歩く

荻窪 圭 著
山川出版社
古地図と地形図で伝承を歩く鎌倉街道散歩入門書。古都鎌倉に残る古道、代表的な鎌倉街道「上道」、都内に残る鎌倉街道伝承をたどりながら、鎌倉街道の謎解きを楽しむ。

毎日新聞 2022/08/13

2022:7./ 239p
978-4-634-15210-6
¥2,200〔税込〕

成長の臨界～「飽和資本主義」はどこへ向かうのか～

河野 龍太郎 著
慶應義塾大学出版会
現在の社会システムのまま、同じような経済活動を続けていけば、いずれ限界=臨界が訪れる。現状が維持不能なら、次に来る秩序はどう形成されるのか。エコノミストが現況を怜悧に分析し、迫り来る次の世界を展望する。

毎日新聞 2022/08/13

2022:7./ 26p,518p
978-4-7664-2834-6
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

短歌の<今>を読む～二〇二一年、コロナの日々に～

久我　田鶴子 著
砂子屋書房
三十一文字の持つ言葉の色つやと音の識閾、その連なりと重なりを感得しながら、一首一首を丁寧に鑑賞。批評対象とした 150 人以上の歌人と、自らの生の総体を十全に解き明かす。砂子屋書房ホームページ連載を書籍化。

毎日新聞 2022/08/13

2022:5./ 304p
978-4-7904-1829-0
¥3,080〔税込〕

LGBT の不都合な真実～活動家の言葉を 100%妄信するマスコミ報道は公共的か～

松浦大悟 著
秀和システム
左翼運動の変形としての LGBT 運動では社会変革はできない。あえて急進的 LGBT 活動家が触れたがらない不都合な真実もあぶり出し、保守の立場からの新しい LGBT 論を提唱する。

毎日新聞 2022/08/13

2021:9./ 300p
978-4-7980-6556-4
¥1,650〔税込〕

金魚酒

深堀隆介 著
芸術新聞社
枡の中に液体状の透明樹脂を流し込み、固まった表面に金魚をパーツごとに描いていく。何回も繰り返す独特な積層絵画により、生きている金魚がいるような「金魚酒」20 年分の作品を、写真で振り返る。

毎日新聞 2022/08/13

2022:7./ 239p
978-4-87586-646-6
¥2,750〔税込〕

坂上昭一の昆虫比較社会学

山根　爽一、松村　雄、生方　秀紀 著
海游舎
「日本のファーブル」と称された坂上昭一。その生涯をたどるとともに、気鋭の進化生物学者らが坂上の研究手法や研究哲学を分析・評価し、各人が体験したエピソードを交えて観察のポイント、指導法などを振り返る。

毎日新聞 2022/08/13

2022:4./ 8p,344p
978-4-905930-88-4
¥5,060〔税込〕

利休の黒～美の思想史～(尼ケ崎彬セレクション 1)

尼ヶ﨑 彬 著
花鳥社
日本人はいかにして「日本人」になったのか。仏教の無常、老荘の脱俗、和歌の伝統など、茶道を生み出した背景となる日本文化の歴史や、日本の美を決定づけた事象や人物を掘り下げ、思想史として体系付ける。

毎日新聞 2022/08/13

2022:7./ 313p
978-4-909832-61-0
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

これからの時代を生き抜くための文化人類学入門

奥野克巳 著
辰巳出版
人新世というかつてない時代を生きるには、「文化人類学」という羅針盤が必要だ-。ボルネオ島の狩猟採集民「プナン」と長年行動をともにしてきた人類学者による、“あたりまえ”を今一度考え直す文化人類学講義。

毎日新聞 2022/08/13、朝日新聞 2022/08/27

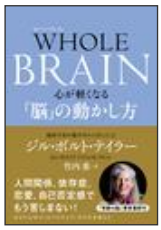
2022:6./ 269p
978-4-7778-2873-9
¥1,760〔税込〕

思想の流儀と原則

鶴見 俊輔／吉本 隆明 著
中央公論新社
2 人の戦後思想家、鶴見俊輔と吉本隆明のそれぞれの思想的な立場が、相互に照らしあうような言及の中で明晰に浮かび上がってくる論考と、直接的な対論 3 篇を収録。対談や大澤真幸の解説も掲載する。

毎日新聞 2022/08/20

2022:6./ 297p
978-4-12-005544-7
¥2,970〔税込〕



WHOLE BRAIN～心が軽くなる「脳」の動かし方～

ジル・ボルト・テイラー 著
ＮＨＫ出版
左右それぞれの脳に「思考」と「感情」のキャラをもつ計 4 つの部位がある。キャラたちがひとつのチームとして協力し合えば、心穏やかな人生が手に入る。脳全体を活かして、なりたい自分になる具体的な方法を解説する。

毎日新聞 2022/08/20

2022:6./ 349p
978-4-14-081902-9
¥2,200〔税込〕

あくてえ

山下 紘加 著
河出書房新社
90 歳の憎たらしいばばあと、面倒見が良く気弱な母と 3 人で暮らす小説家志望のゆめ。鬱屈を悪態に変えて己を奮い立たせる 19 歳のヘヴィな日常を描く。『文藝』掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 174p
978-4-309-03063-0
¥1,650〔税込〕

ニッポン秘境路線バスの旅～驚きの酷道ルート&ご当地ルールの不思議～(交通新聞社新書 162)

風来堂 著
交通新聞社
ダムの堰堤上、断崖絶壁、半分以上オフロード…。こんなところを走る!? 日本全国を網羅する路線バスの中から、知られざるオモシロ路線をテーマ別に紹介する。写真や地図も掲載。

毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 239p
978-4-330-01622-1
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

マンガの描き方～似顔絵から長編まで～(知恵の森文庫)

手塚　治虫 著
光文社
毎日新聞 2022/08/20

1996:7./ 249p
978-4-334-72263-0
¥550〔税込〕

南洋の日本人町(平凡社新書　1007)

太田　尚樹 著
平凡社
かつて南洋と呼ばれた東南アジア。日本の海外進出の先遣隊として南洋に渡った人々は、大戦に翻弄されながら、いかに生きたのか。南進論に導かれて海を渡った侍・商人・職人、故郷のために身を売った女性たちの足跡を追う。

毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 238p
978-4-582-86007-8
¥968〔税込〕

CHRONICLE～山野井泰史全記録～

山野井　泰史 著
山と渓谷社
心のまま、熱狂的に登り続けてきた半生。10 代の武者修行からヒマラヤを舞台にした数々の登攀、再起を果たした現在まで、折々の手記と豊富な写真で主要な登攀を追った記録。ポーランドの登山家との対談やインタビューも収録。

毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 255p
978-4-635-34039-7
¥2,200〔税込〕

人は死ねない～超長寿時代に向けた 20 の視点～

奥真也 著
晶文社
AI 診断、人工臓器、予防ビジネス…。超長寿時代は、人生が長くなる一方で、小さな体の不調を抱えながら生きる人が大量に増える時代でもある。未来の医療のあり方と問題点を提示しながら、超長寿時代の死とは何かを考察する。

毎日新聞 2022/08/20

2022:6./ 272p
978-4-7949-7305-4
¥1,980〔税込〕

私がつかんだコモンと民主主義～日本人女性移民、ヨーロッパの NGO で働く～

岸本聡子 著
晶文社
NO ではなく YES で世界を変える! オランダ人との国際結婚に葛藤しながらも、移民として学歴もお金もないところから欧州の NGO で働き、気候正義、多様性を追いかけてきた日本人女性の、希望のポリティクス体験記。

毎日新聞 2022/08/20

2022:7./ 222p
978-4-7949-7319-1
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

チェヴェングール

アンドレイ・プラトーノフ 著
作品社
死への興味が嵩じて湖に自ら身を投げだした父親の息子アレクサンドルは、やがて、ボリシェヴィキとして、彼の同伴者であり親友のコピョンキンとともに、共産主義が完成した理想郷チェヴェングールを見出す-。

毎日新聞 2022/08/20

2022:6./ 624p
978-4-86182-919-2
¥4,950〔税込〕

立川生志のニュース落語

RKB ラジオ『立川生志　金サイト』 編
立川 生志 著
梓書院
酒持ち込み営業継続、柔道ブラジル選手の右胸に「家族」の文字、アベノマスク 8 千万枚在庫配布へ…。2021 年 4 月～12 月に RKB ラジオ「立川生志金サイト」で放送した時事落語をまとめる。音声が聴ける QR コード付き。

毎日新聞 2022/08/20

2022:6./ 237p
978-4-87035-741-9
¥1,100〔税込〕

沖縄戦と琉球泡盛～百年古酒の誓い～

上野　敏彦 著
明石書店
県民の 4 人に 1 人が犠牲になった沖縄戦で、歴史的な遺産である古酒も失った。琉球泡盛はどうよみがえったか。酒を育てるため、平和な時代を築くことを決意し、行動した人々。琉球文化と泡盛 600 年の歴史とドラマを振り返る。

毎日新聞 2022/08/20、東京・中日新聞 2022/08/28

2022:7./ 307p,5p
978-4-7503-5429-3
¥2,750〔税込〕

ひろしまの満月

中澤晶子 著
小峰書店
いま思い出しても心がばりばりとやぶれてしまいそうなできごとを、かめは思い出ドアのむこうに、かくしていました。その日は、満月でした。1945 年 8 月、ひろしまで起きたこととは…。戦争の記憶を伝え、平和を願う物語。

毎日新聞 2022/08/26

2022:6./ 62p
978-4-338-19243-9
¥1,320〔税込〕

幸福な王子～童話集～(岩波文庫 32-245-5)

オスカー・ワイルド 著
岩波書店
全身を金箔で覆われた王子の彫像が民衆の悲惨な生活を知り、サファイアの目や体中の金箔をつばめに頼んで貧しい人々に分けあたえる「幸福な王子」等、無垢なるものや純愛への限りない賛嘆にみちたオスカー・ワイルドの全童話。

毎日新聞 2022/08/27

2020:5./ 305p
978-4-00-322455-7
¥924〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

信じようと信じまいと

R・L・リプレー 著
河出書房新社
人食いハマグリ、生涯立ちつづける男、71 年間一睡もしなかった法律家…。笑えるものから背筋が凍る不思議なものまで、世界中から集めた「嘘のような本当の話」をユニークなイラストとともに紹介する。

毎日新聞 2022/08/27

2022:6./ 188p
978-4-309-20857-2
¥1,870〔税込〕

水俣病闘争史

米本 浩二 著
河出書房新社
最もラディカルで大規模な公害闘争として知られる水俣病闘争は、どのように生まれ、全国的な闘争に展開していったのか。渡辺京二や石牟礼道子の知られざる運動へのコミットとともに、水俣病闘争の歴史をわかりやすく描く。

毎日新聞 2022/08/27

2022:8./ 229p
978-4-309-22862-4
¥2,750〔税込〕

あっぱれから遖まで～ある国字の盛衰～

西井 辰夫 著
幻冬舎メディアコンサルティング
もともとは「あわれ」の強調形である「あっぱれ」。だが現代では「あっぱれ」は称賛を、「あわれ」は悲哀や憐憫を表すためだけに使われている。なぜ真逆の意味になったのか。日本独自の感動詞に秘められた歴史を解き明かす。

毎日新聞 2022/08/27

2022:7./ 165p
978-4-344-94036-9
¥1,430〔税込〕

べつに怒ってない

武田　砂鉄 著
筑摩書房
三角コーナーの現状、寝てない自慢、コンビニに行く時の格好…。考えすぎのプロが、やろうと思ったけどできなかったことや、やる前に考えてしまったことを紡ぐ、不毛で豊かなエッセイ。『日経 MJ』連載を改稿し書籍化。

毎日新聞 2022/08/27

2022:7./ 269p
978-4-480-81566-8
¥1,760〔税込〕

ドレスデン爆撃 1945～空襲の惨禍から都市の再生まで～

シンクレア・マッケイ 著
白水社
第二次世界大戦末期、「エルベ河畔のフィレンツェ」と称されたドイツ東部の都市ドレスデンは英米軍の爆撃で灰燼に帰した。都市の歴史、普通の人々の体験をもとにした爆撃の惨状など、都市の破壊と再生を描く。口絵写真も収録。

毎日新聞 2022/08/27

2022:8./ 381p,36p 図版 24p
978-4-560-09446-4
¥4,730〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

フランス映画に学ぶリスクマネジメント～人生の岐路と決断～

亀井　克之／杉原　賢彦 著
ミネルヴァ書房
映画はリスクマネジメントを学ぶ宝庫。「死刑台のエレベーター」「冒険者たち」「ポンヌフの恋人」といったフランス映画を題材に、リスクマネジメントや危機管理の要点を伝える。コラムやエクササイズも収録。

毎日新聞 2022/08/27

2022:4./ 10p,252p,9p
978-4-623-09402-8
¥2,530〔税込〕

深海学～深海底希少金属と死んだクジラの教え～

ヘレン・スケールズ 著
築地書館
炭素の吸収源として人の暮らしや地球上の生物、気候・気象システムに大きな影響を与える深海の生態系。英国の海洋学者が最新の知見を基に、深海が地球上の生命にとっていかに重要かを語り、海の奥深くへの旅へと誘う。

毎日新聞 2022/08/27

2022:6./ 330p
978-4-8067-1635-8
¥3,300〔税込〕

障害者たちの太平洋戦争～狩りたてる・切りすてる・つくりだす～

林雅行 著
風媒社
障害者は戦争の時どうしていたのか? 視覚・聴覚障害、肢体不自由、知的障害の人々はいかに戦時体制に組み込まれ、積極的または消極的に動員されていったのかを調査。戦争によって生み出された戦災傷害者の女性にも取材する。

毎日新聞 2022/08/27

2022:6./ 306p
978-4-8331-1146-1
¥1,980〔税込〕

中学生から知りたいウクライナのこと(MSLive!BOOKS)

小山哲／藤原辰史 著
ミシマ社
ロシアが絶対に許されない理由とは。西側諸国や日本が犯してきた罪とは-。地域としてのウクライナの歴史や、小国を見過ごすことのない歴史の学び方などを、2 人の歴史学者が語る。オンラインでの講義や対談などを書籍化。

毎日新聞 2022/08/27

2022:6./ 206p
978-4-909394-71-2
¥1,760〔税込〕

よみがえる与謝野晶子の源氏物語

神野藤 昭夫 著
花鳥社
与謝野晶子の生涯にわたる古典翻訳のなかで、「新訳源氏物語」と「新新訳源氏物語」はその象徴的顕現である。翻訳はどのようにして完成したのか。新資料の数々をもとに訳業の具体像を明らかにする。

毎日新聞 2022/08/27

2022:7./ 15p,462p
978-4-909832-58-0
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

コモンズ思考をマッピングする～ポスト資本主義的ガバナンスへ～

2022:8./ 410p,11p
978-4-9904895-8-8
¥2,860〔税込〕

山本　眞人 著

Ｂ・Ｍ・ＦＴ出版部

資源の所有より管理の視点を重視し、コミュニティの自治能力を高めることをめざすコモンズ思考。その解読から、現在の歴史的転換の意味を明かし、コモンズ思考の可能性をどう活かすかを探る。

毎日新聞 2022/08/27

MARUZEN-YUSHODO